

## 静岡市子どもの読書活動に関するアンケート結果

### ●目的

「第3次静岡市子ども読書活動推進計画」の策定にあたり、子どもの読書活動の現状とそれを取り巻く環境を把握し、計画策定の参考とするため。

#### ①市政アンケートモニター

対象：広報課で募集した市政アンケートモニター100人

期間：平成26年6月10日（火）～6月24日（火）

内容：子どもの頃の読書体験と現在の読書状況、子どもの読書についての考え

方法：広報課広聴係を通じ、モニターがインターネットで回答、図書館で集計

回収数：100件

#### ②保育園・幼稚園アンケート

対象：市立保育園48園・幼稚園14園

期間：平成26年7月

内容：各園での子どもの読書に関する取り組み状況

方法：保育園…保育課から各保育園へ依頼、保育課で取りまとめ、図書館で集計

幼稚園…教育総務課から各幼稚園へ依頼、教育総務課で取りまとめ、図書館で集計

回収数：市立保育園48件・幼稚園14件

#### ③学校アンケート

対象：市立小学校86校・中学校43校・高等学校2校

期間：平成26年7月

内容：各校での子どもの読書に関する取り組み状況

方法：小中学校…学校教育課から各校へ依頼、学校教育課で取りまとめ、図書館で集計

高等学校…教育総務課から各校へ依頼、教育総務課で取りまとめ、図書館で集計

回収数：市立小学校86件・中学校43件・高等学校2件

#### ④小学生・中学生・高校生読書アンケート

対象：市立小学校・中学校・高等学校の児童生徒

期間：平成26年7月

内容：現在の読書量とこれまでの読書体験、図書館の利用状況

方法：小中学校…各校学年を指定して1クラスを割り当て、学校教育課から各校へ依頼、

学校教育課で取りまとめ、図書館で集計

（ただし、小規模校は全児童生徒に実施）

高等学校…各校各学年1クラスずつの生徒に実施、教育総務課から各校へ依頼、

教育総務課で取りまとめ、図書館で集計

回収数：小学生2,648件・中学生1,325件・高校生233件

#### ⑤ブックスタート事業アンケート

対象：平成25年11・12月実施の1歳6か月児健康診査対象者の保護者877人

（葵区：309人、駿河区309人、清水区259人）1歳6か月

期間：平成25年9月～10月送付、11月～12月回収平成26年7月

内容：ブックスタート事業の現状と効果

方法：1歳6か月児健康診査対象者への事前送付資料とともにアンケート用紙を送付、

1歳6か月児健康診査会場の受付時に回収

回収数：557件

- 1 子どもの読書活動の現状と読書についての考え方 … 5
  - (1) 子どもの読書量とその要因について
  - (2) 読書環境について
  
- 2 大人の読書活動の現状と子どもの読書活動についての考え方 … 11
  - (1) 大人の読書量とその要因について
  - (2) 保護者としての読書活動について
  - (3) 子どもの読書活動について
  
- 3 保育所・幼稚園における子どもの読書活動等の現状 … 16
  - (1) 読書機会の提供について
  - (2) 読書環境の整備・充実について
  - (3) 読書活動の普及・啓発について
  - (4) 関係機関との連携協力について
  
- 4 学校における子どもの読書活動等の実態と学校図書館の現状 … 21
  - (1) 読書機会の提供について
  - (2) 読書環境の整備・充実について
  - (3) 読書活動の普及・啓発について
  - (4) 関係機関との連携協力について
  
- 5 図書館・生涯学習施設等地域における子どもの読書活動の現状 … 31

#### 【アンケート結果の見方】

- この結果は、各アンケート（市政アンケートモニター、保育園・幼稚園アンケート、学校アンケート、小学生・中学生・高校生読書アンケート、ブックスタート事業アンケート）の結果を上記項目別にまとめたものです。
- N＝母集団の大きさを100%が何人の回答に相当するかを示します。
- グラフは、百分率（%・小数点第2位を四捨五入）で表したものと、回答数で表したものがあります。

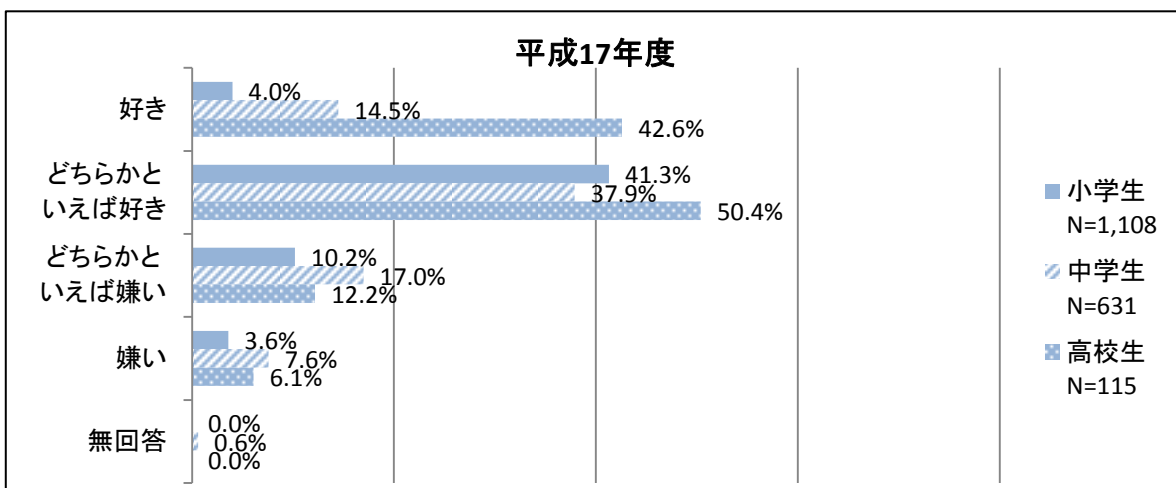
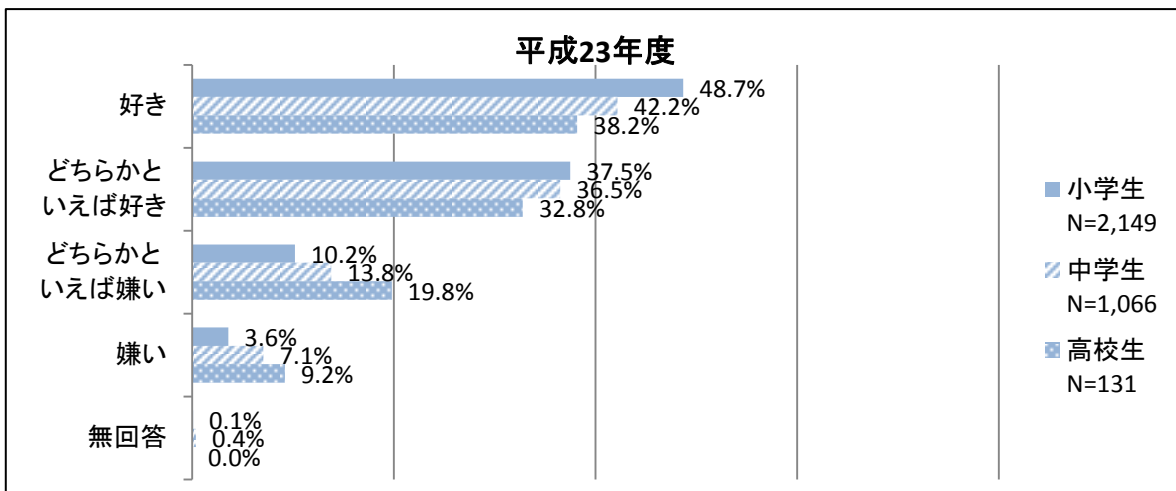
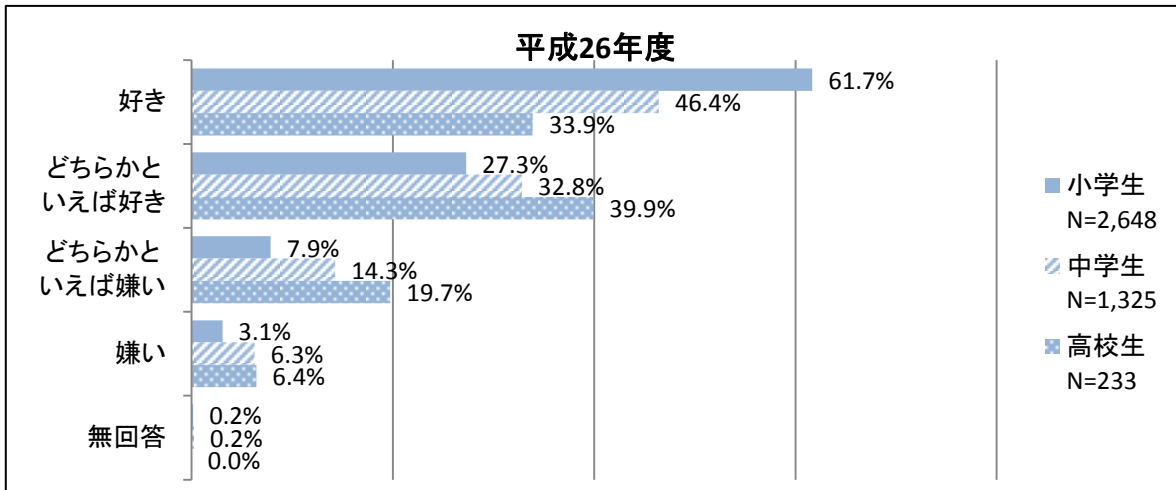
# 1 子どもの読書活動の現状と読書についての考え方

- 年齢による読書量の変化や、読み聞かせ体験について把握する。
- 子どもの読書についての考え方や、読書のための時間や本をどのように確保しているのかを把握する。

## (1)子どもの読書量とその要因について

あなたは、本を読むことが好きですか。 <小・中・高生>

- 読書が「好き」と回答した割合は、小学生:61.7%、中学生:46.4%、高校生:33.9%で、年齢があがるにつれて減少している。
- 小・中学生は、「好き」と回答した割合が前回、前々回調査より増加してきているが、高校生では減少している。

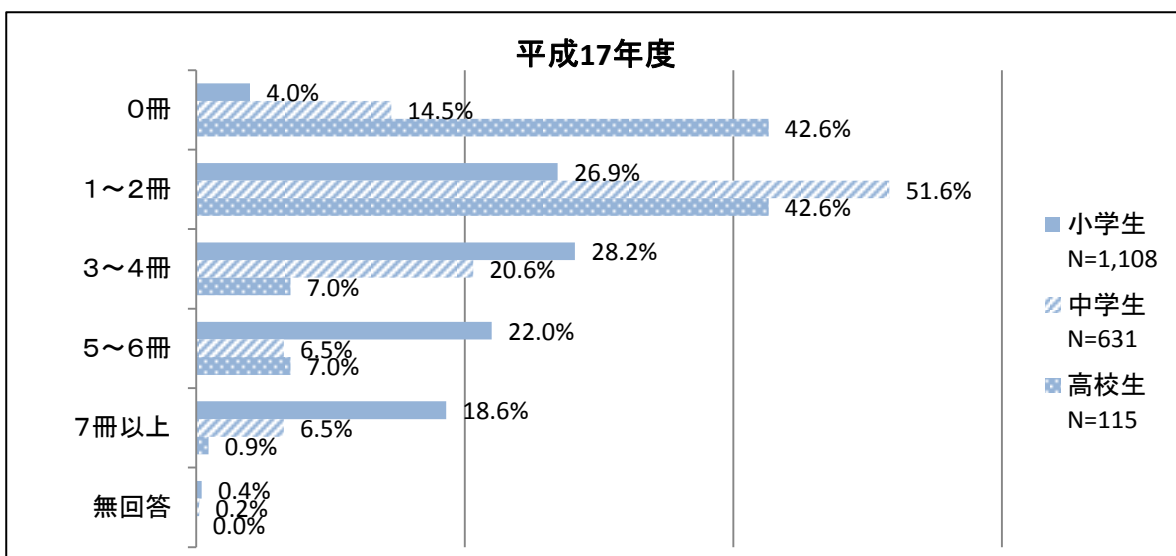
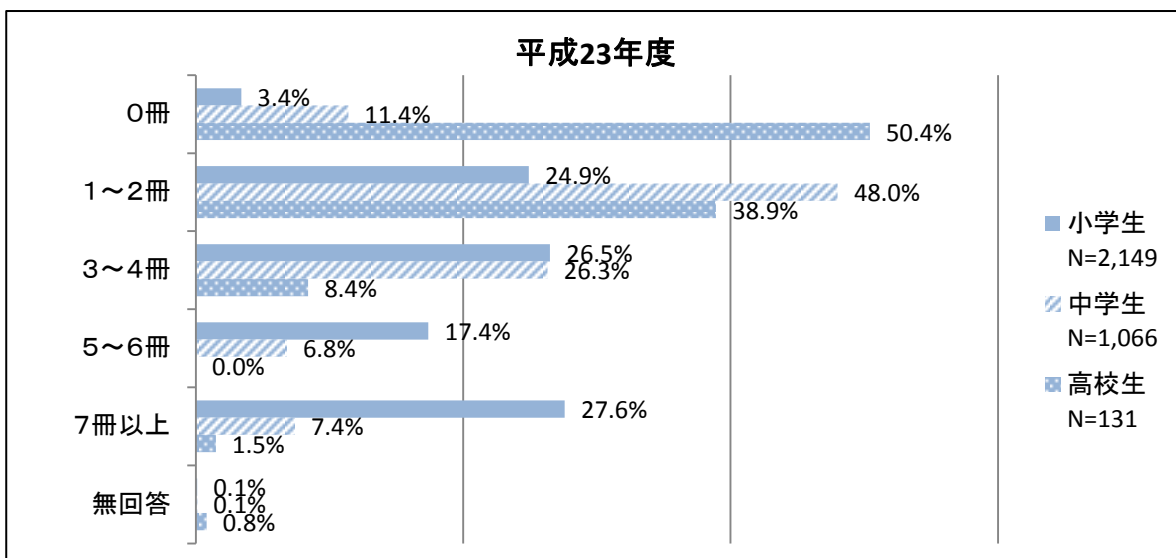
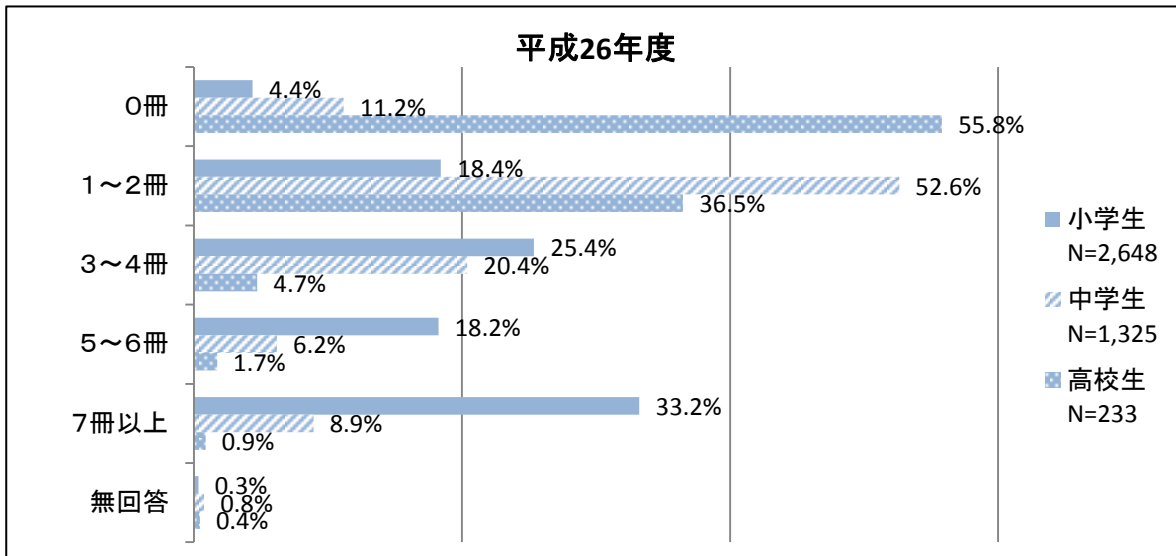


あなたは、1か月におよそ何冊ぐらい本を読みますか。〈小・中・高生〉

※ 教科書・資料集・参考書・雑誌・マンガは含まない。

● 1か月に1冊も本を読まない割合は、小学生(4.4%)中学生(11.2%)高校生(55.8%)で、年齢があがるにつれて増加している。

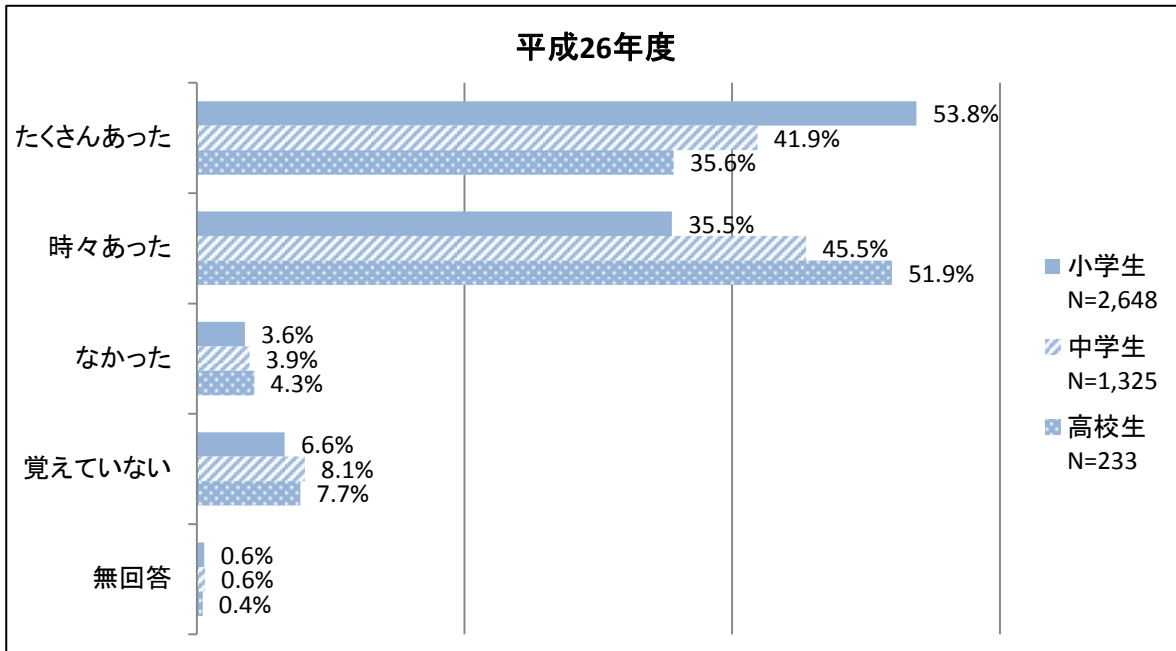
● 小学生・高校生では、前回調査時より1か月に1冊も本を読まない割合が増加した。



あなたは小さなころから、誰かに本を読んでもらったり、昔話を話してもらったりしたことがありますか。

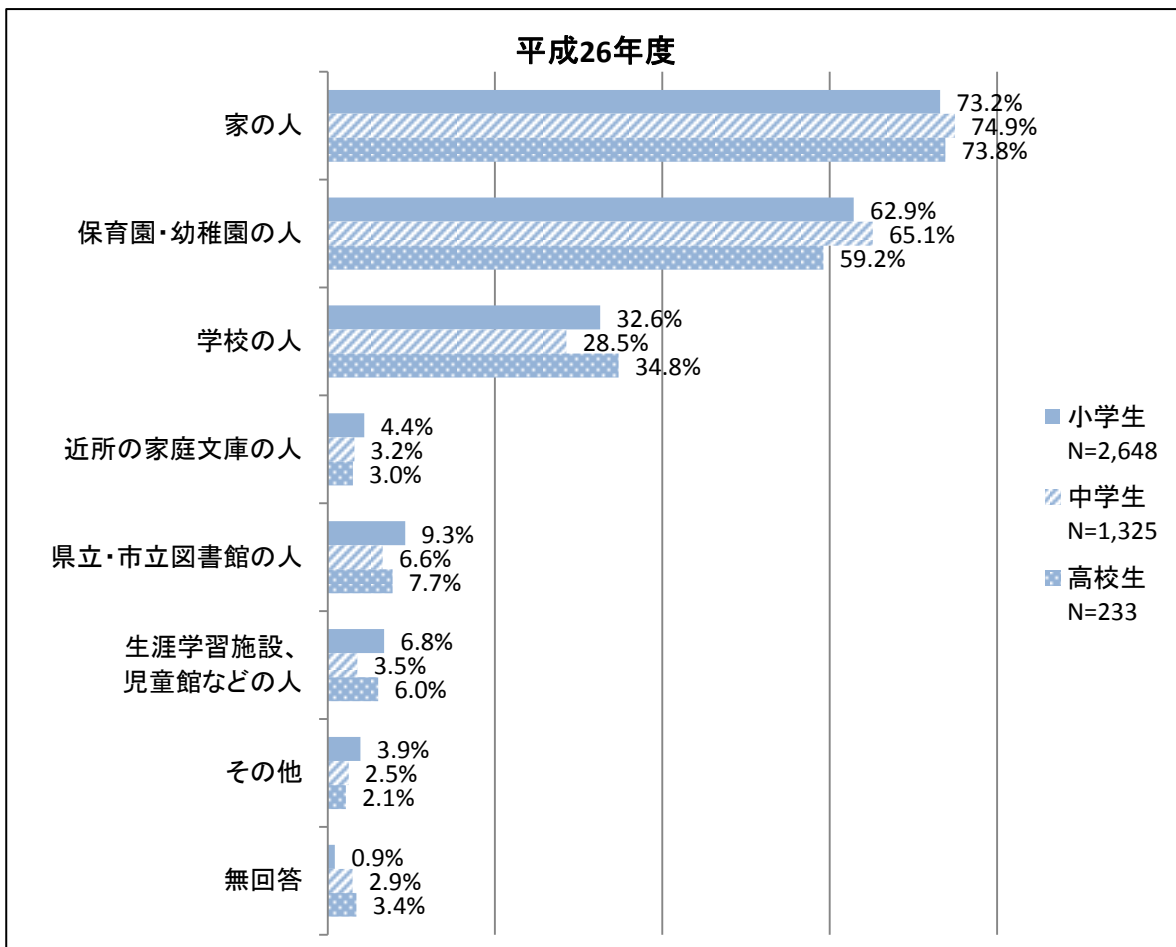
<小・中・高生>

●小学生・中学生・高校生とも、「たくさんあった」「時々あった」と回答している割合が高い。



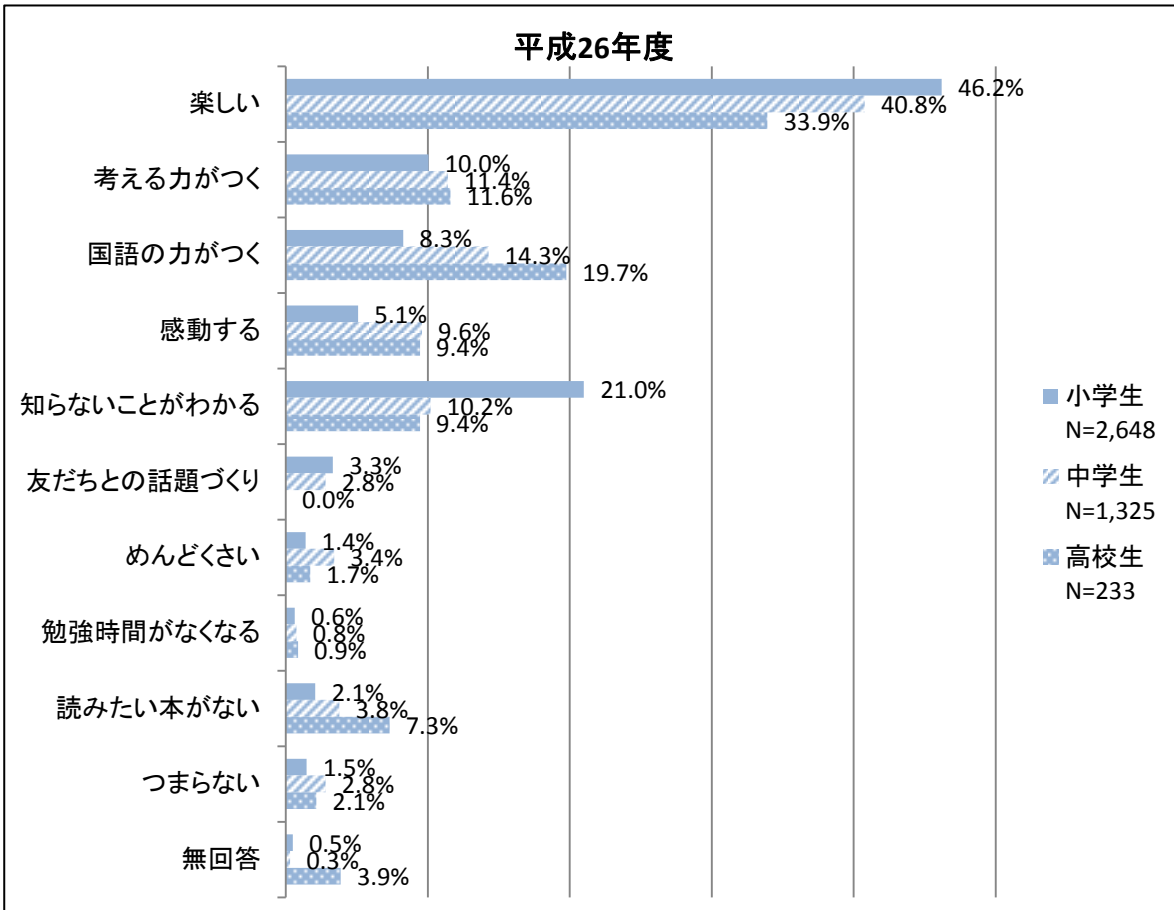
誰に本を読んでもらったり昔話を話してもらったりしましたか。<小・中・高生> 複数回答可

●「家の人」が最も多く、次いで「保育園・幼稚園の人」「学校の人」となっている。



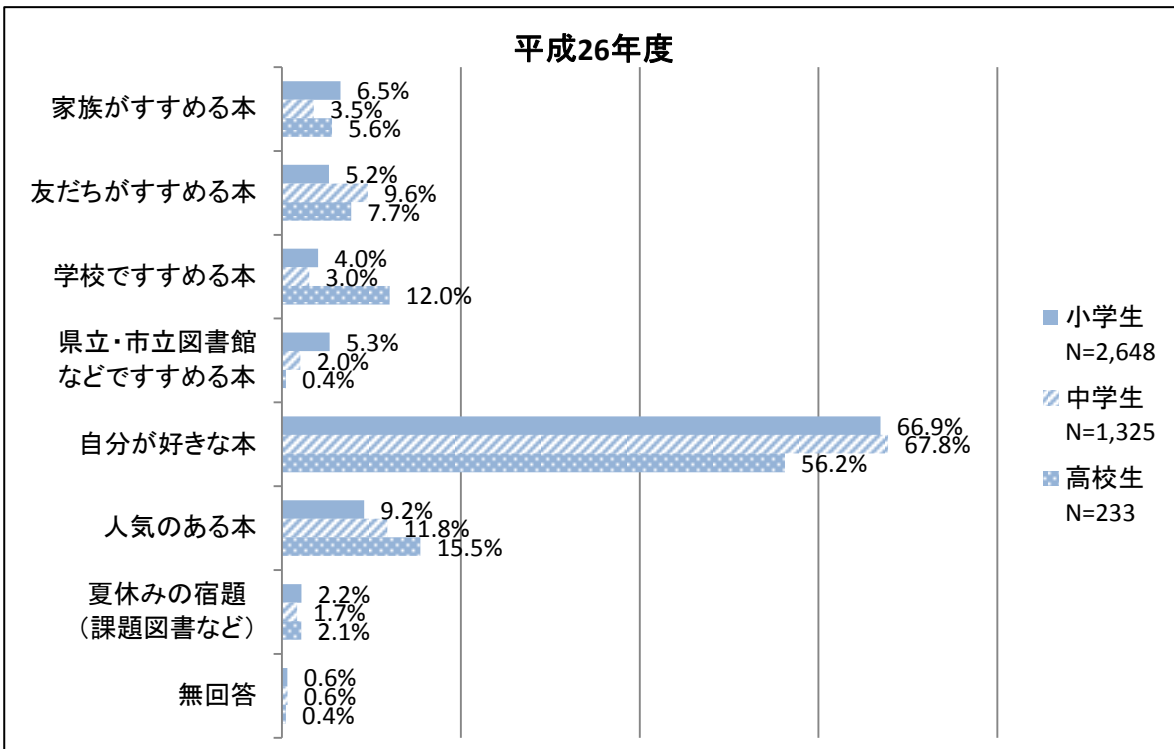
あなたは、読書についてどのように考えていますか。〈小・中・高生〉

●「楽しい」が最も多く、「知らないことがわかる」「国語の力がつく」「考える力がつく」が高い割合になっている。



あなたは、本をどのようにして選んでいますか。〈小・中・高生〉

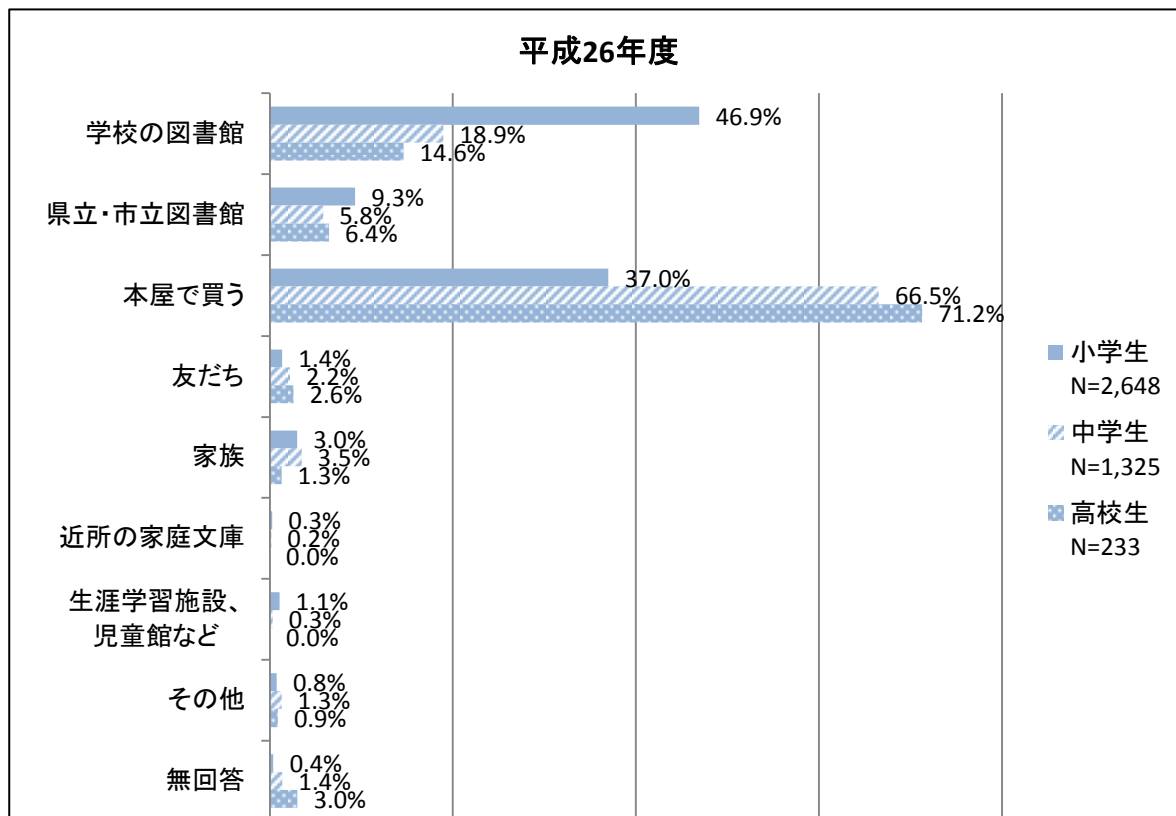
●小・中・高校生とも、「自分が好きな本」が最も多い。



## (2) 読書環境について

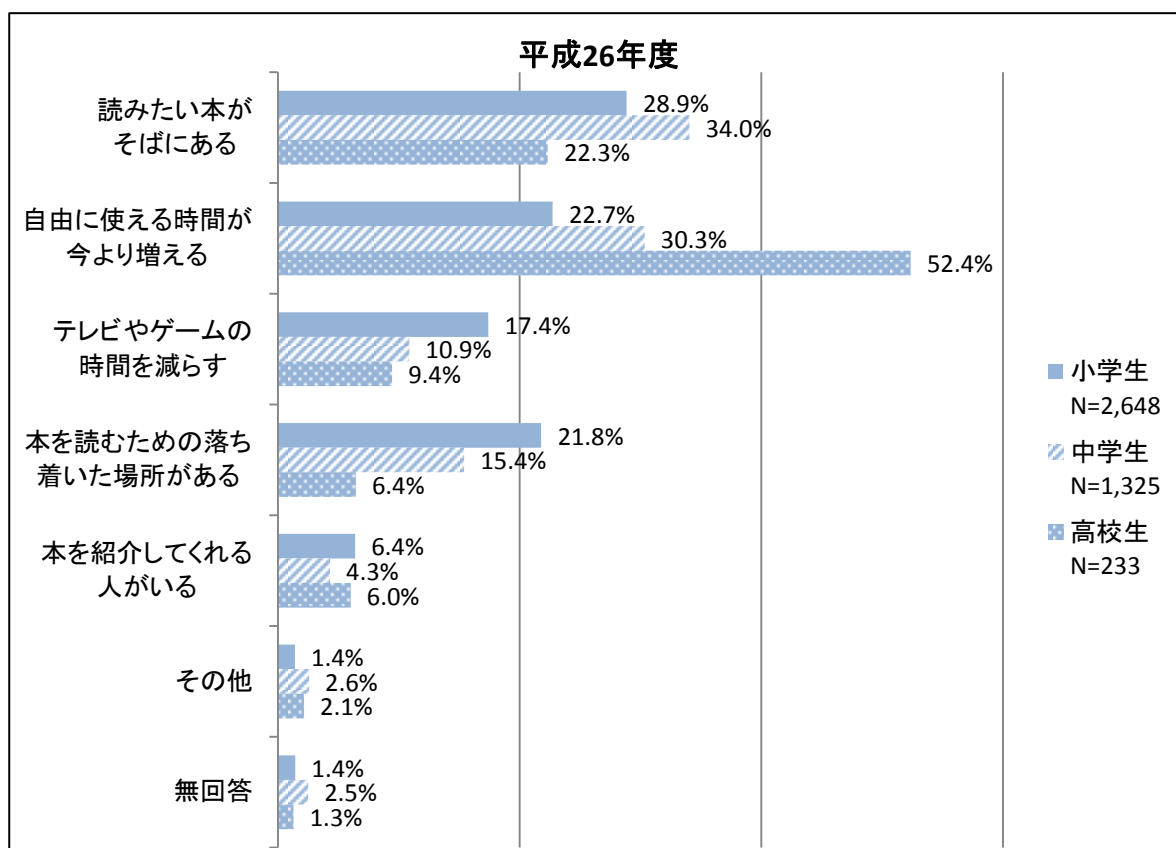
読む本は、主にどこで借りたり買ったりしますか。〈小・中・高生〉

- 中学生・高校生では、「本屋で買う」、小学生では「学校の図書館」が最も多くなっている。近年、インターネットでの購入も考えられる。



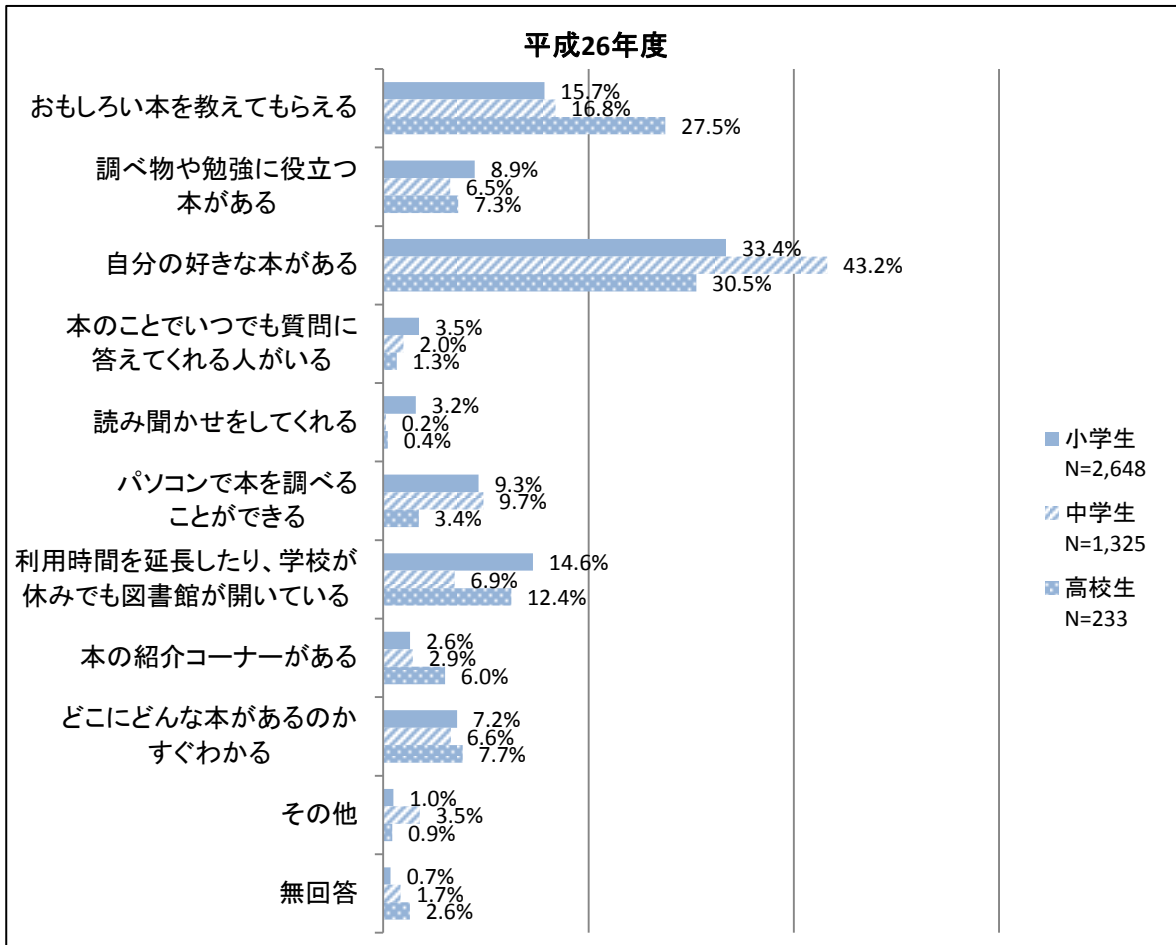
どうすれば今までより本が読めるようになりますか。〈小・中・高生〉

- 小・中学生では「読みたい本がそばにある」、高校生では「自由時間が今より増える」が最も多くなっている。身近に本があること、時間、場所が確保されることが必要と考えられる。



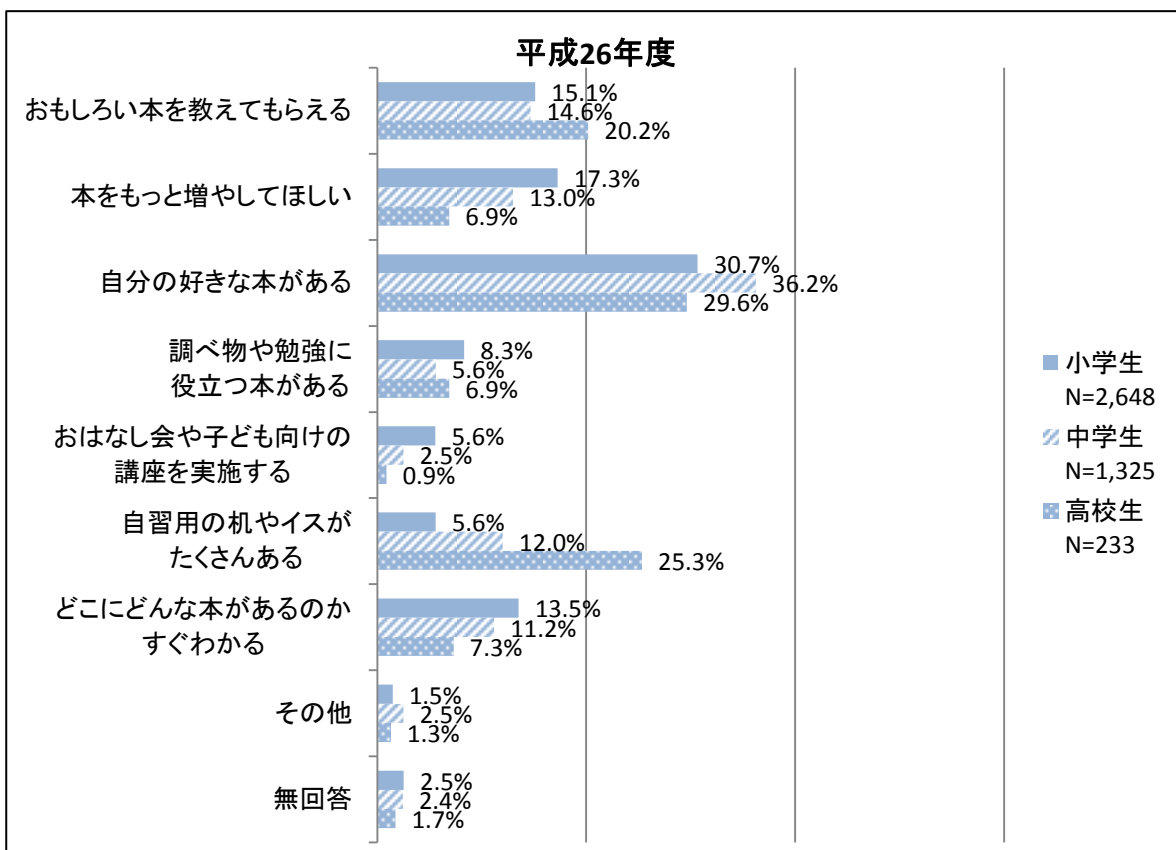
学校図書館に望むことは何ですか？

●「自分の好きな本がある」と「おもしろい本を教えてもらえる」が多く望まれている。



学校以外の場所(県立・市立図書館、生涯学習施設、児童館、家庭文庫など)に望むことは何ですか？

●「自分の好きな本がある」「おもしろい本を教えてもらえる」のほか、自習スペースなども望まれている。





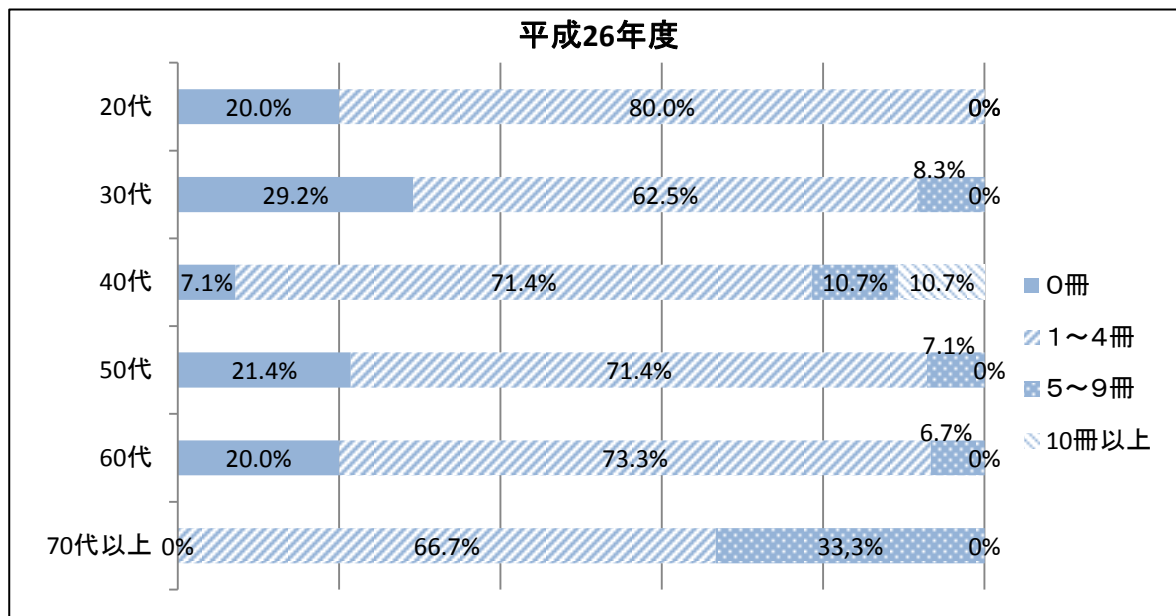
## 2 大人の読書活動の現状と子どもの読書活動についての考え方

- 大人の読書活動の現状を把握する。
- 子どもの読書活動について、大人はどのように考えているのかを把握する。

### (1) 大人の読書量と子どもの頃の読書体験について

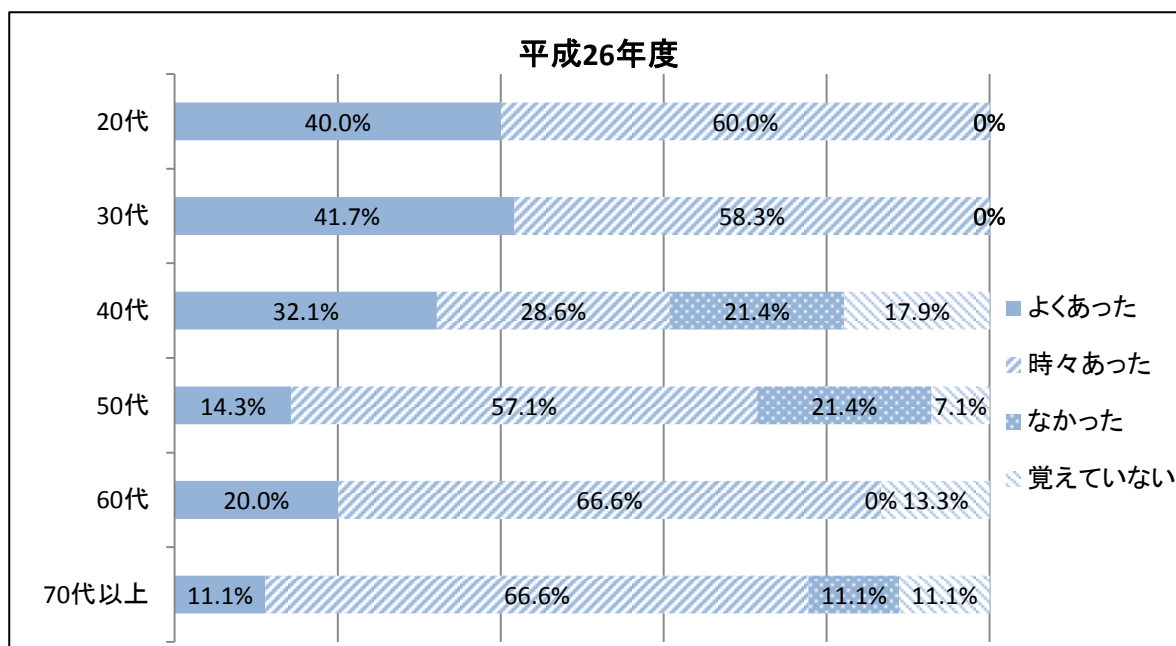
あなたは、1ヶ月に平均何冊ぐらい本を読みますか。〈モニター〉

- 80%以上の人が月に1冊以上の本を読んでおり、「1～4冊」がどの年代でも最も多く、全体の70%を占めた。



あなたは子どもの頃、誰かに本を読んでもらったり、昔話を話してもらったりしたことがありますか。〈モニター〉

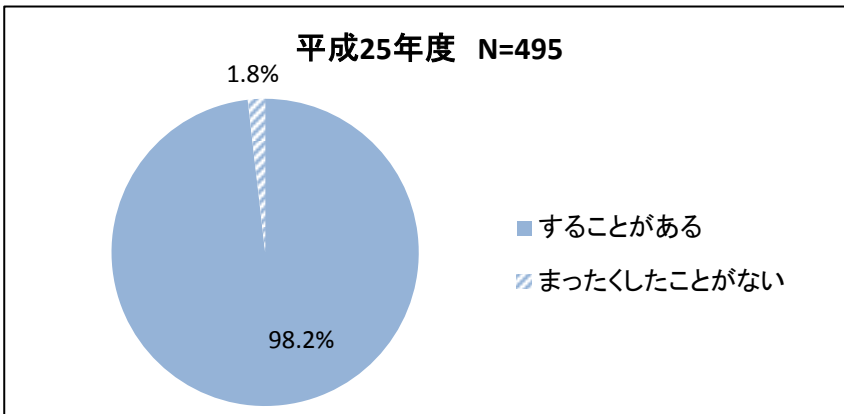
- 20代、30代のすべての人が「よくあった」「時々あった」と回答しており、この年代では多くの人に子どもの頃の読み聞かせ等の体験があったことがうかがえる。
- 40代、50代の20%以上が「なかった」と回答しており、この年代は他の年代より読み聞かせ等の体験が少なかった。
- 60代、70代以上は、約80%が「よくあった」「時々あった」と回答しており、子ども時代の生活の中に読み聞かせや昔話があったことがうかがえる。



(2) 保護者としての読書活動について

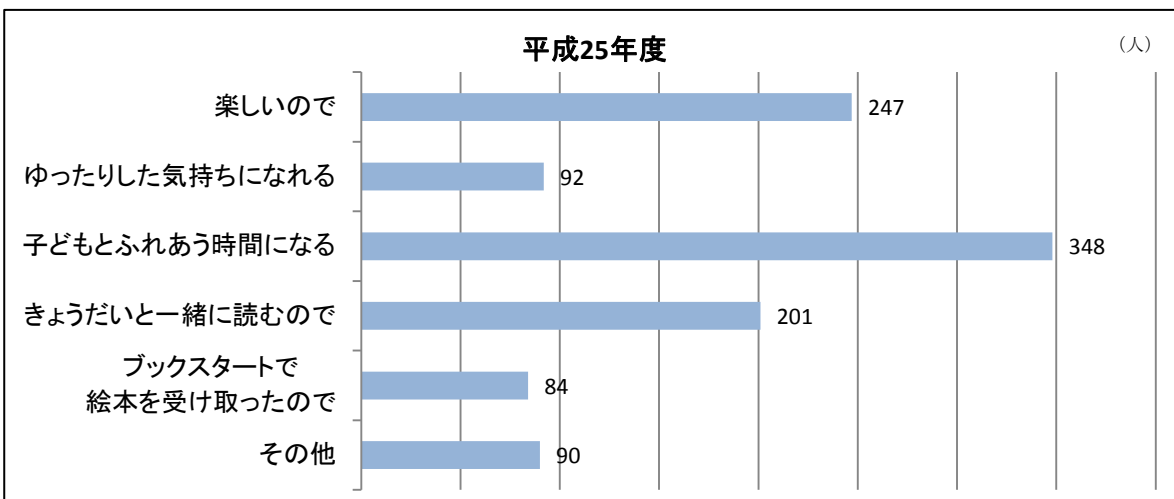
ご家庭でお子さんと絵本を見たり、読み聞かせをしたりすることがありますか。〈ブックスタート〉

- 「することがある」が 98.2%で、ほとんどの家庭で、読み聞かせ等をしている。読み聞かせの良さ、大切さは、乳幼児の保護者に十分認識されていると言える。



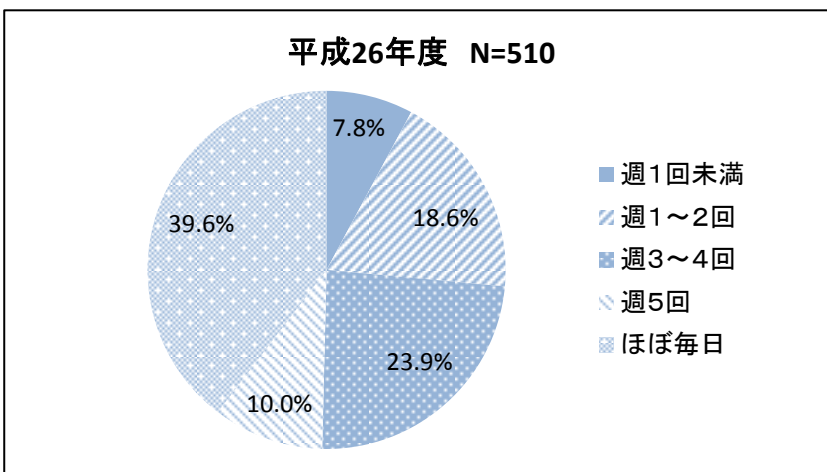
することがある方におたずねします。その理由は何ですか。〈ブックスタート〉

- 「子どもとふれあう時間になる」(348人)が最も多く、次いで「楽しいので」(247人)、「きょうだいと一緒に読むので」(201人)の順になっており、読み聞かせをコミュニケーションのひとつとして楽しんでいることがうかがえる。



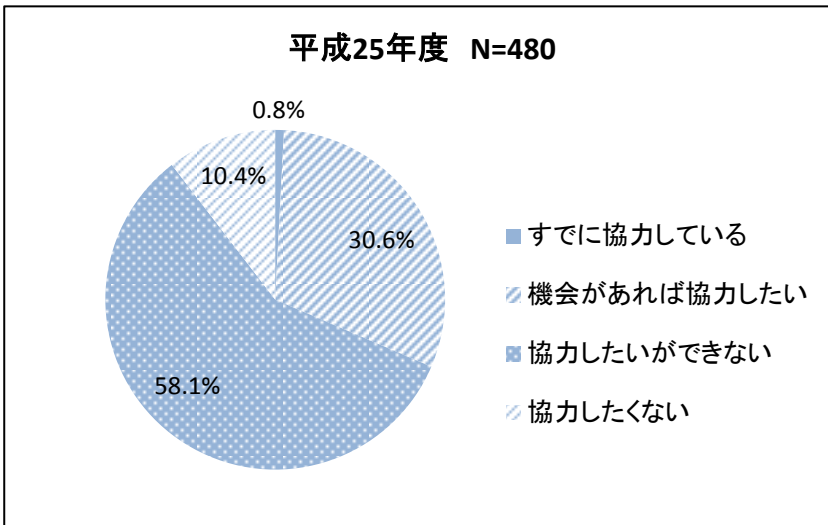
その頻度はどのくらいですか。〈ブックスタート〉

- 「ほぼ毎日」(39.6%)が最も多く、次いで「週3~4回」(23.9%)、「週1~2回」(18.6%)の順になっており、乳幼児のいる家庭での読み聞かせがしっかり行われていることがわかる。



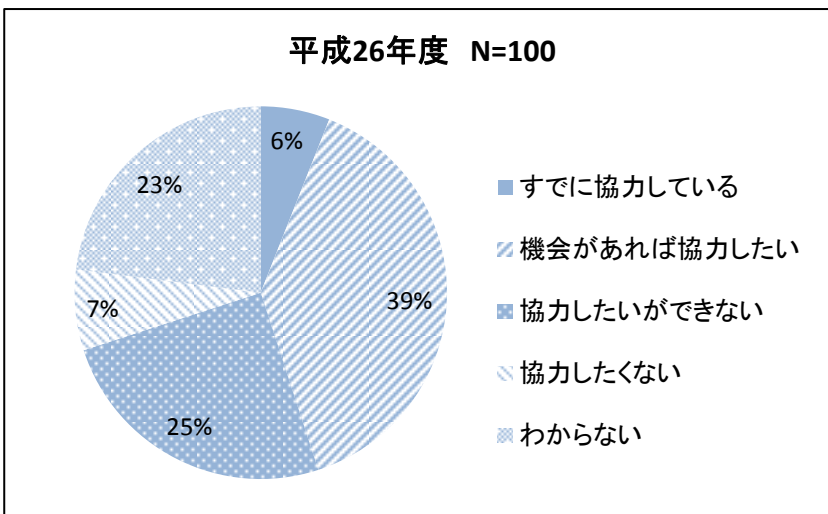
読み聞かせボランティア等の活動について協力したいと思いますか。＜ブックスタート＞

●「協力したいができない」(58.1%)が最も多く、乳幼児の保護者は読み聞かせ等の良さは感じているが、時間的に余裕がないなど協力できない状況にあることがわかる。



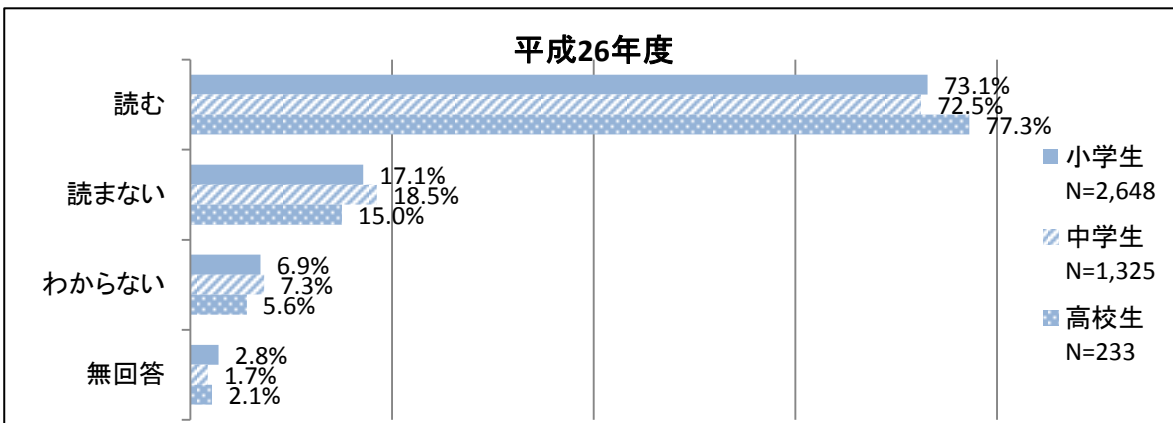
読み聞かせボランティア等の活動について協力したいと思いますか。＜モニター＞

●「すでに協力している」(6%)「機会があれば協力したい」(39%)と合わせると、45%の人がボランティア活動への協力意向があることがわかる。



あなたの家の人は、新聞を読みますか。＜小中高生＞

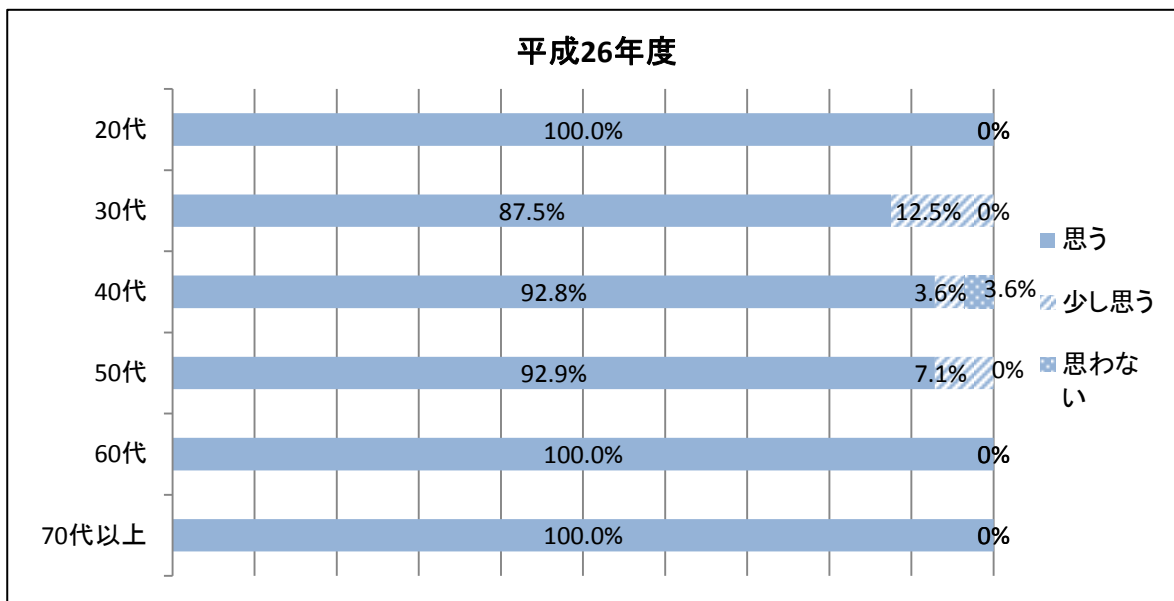
●70%以上の家庭で、保護者が新聞を読んでいる。



### (3) 子どもの読書活動について

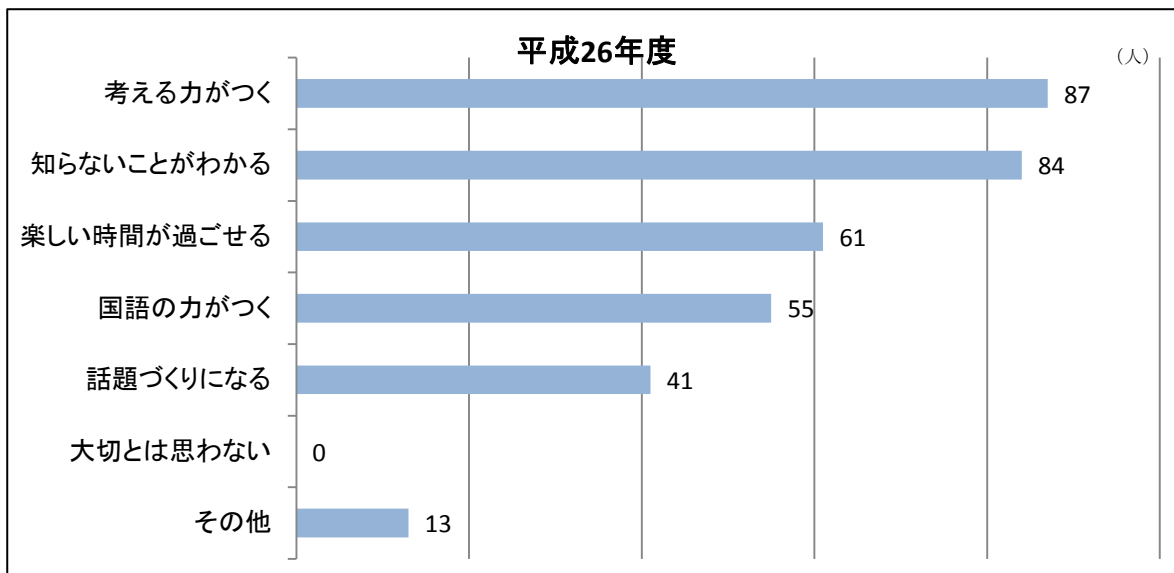
あなたは、子どもが読書することは大切だと思いますか。〈モニター〉

- 「思う」と答えた人がどの年代でも最も多く、94%となった。「思う」「少し思う」を合わせると、99%を占め、ほとんどの人が、子どもが読書することは大切だと考えている。



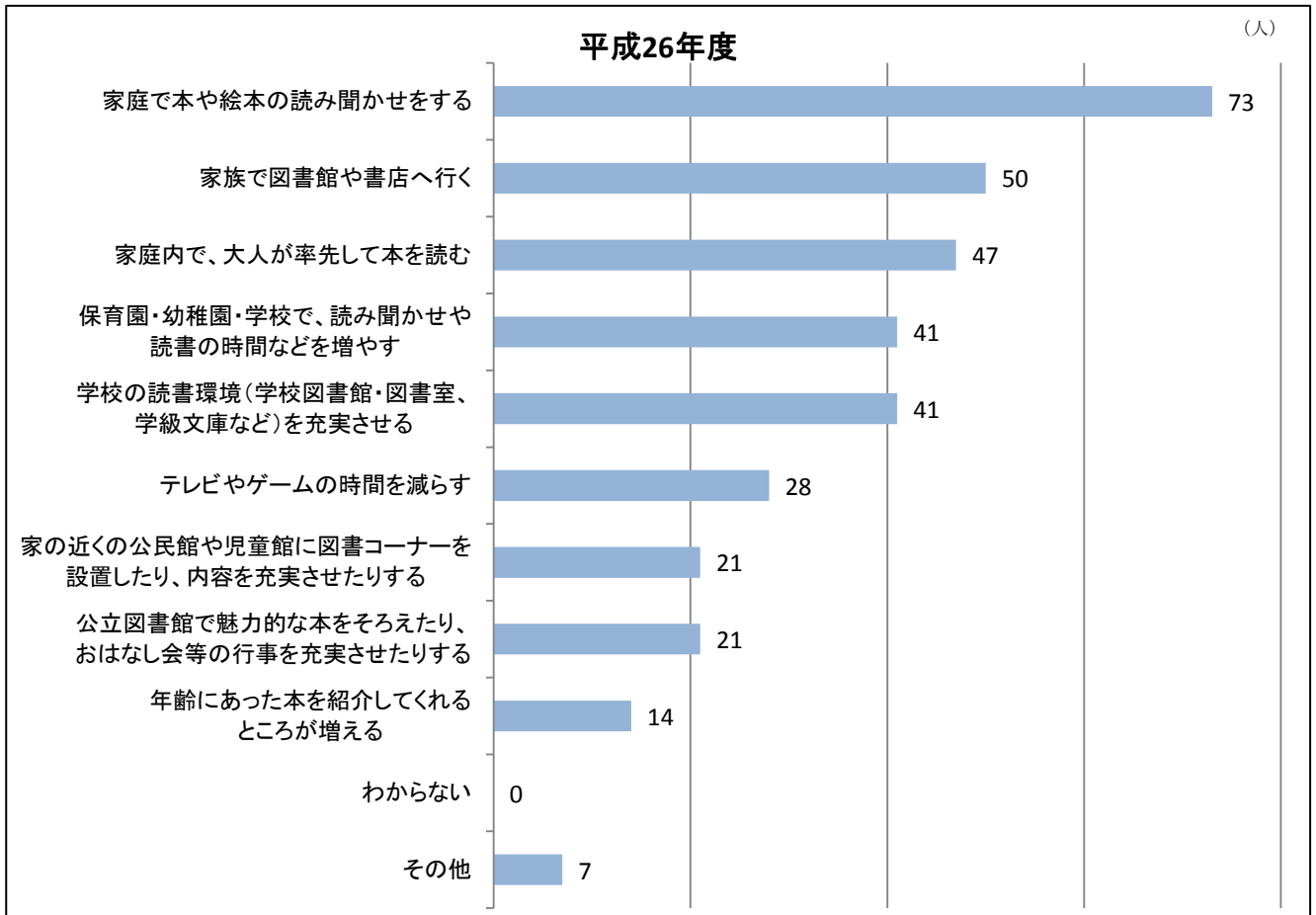
あなたは、読書の良さや大切さは何だと思いますか。〈モニター〉

- 「考える力がつく」が 87 人と最も多く、次いで「知らないことがわかる」(84 人)、「楽しい時間が過ごせる」(61 人)となっており、読書からさまざまな知識を得たり、趣味やレクリエーションとして利用されたりしていることがわかる。
- 「国語の力がつく」が 55 人で、その他の回答のなかにも「読解力の向上」をあげている人もおり、読書と国語力・読解力は結びつきが強いと感じていることがうかがえる。



将来、どのようにすれば子どもたちが、より本や絵本に親しめるようになると思いますか。(3つまで) <モニター>

- 「家庭で本や絵本の読み聞かせをする」が73人と最も多い。次いで、「家族で図書館や書店へ行く」(50人)、「家庭内で、大人が率先して本を読む」(47人)となった。
- 「保育園・幼稚園・学校で、読み聞かせや読書の時間などを増やす」「学校の読書環境(学校図書館・図書室、学級文庫など)を充実させる」がどちらも41人ずつとなり、上記に続いた。
- この結果から、子どもたちがより本に親しむためには、まず家庭から、次に学校等の読書環境を整えることが必要と考える人が多いことがうかがえる。



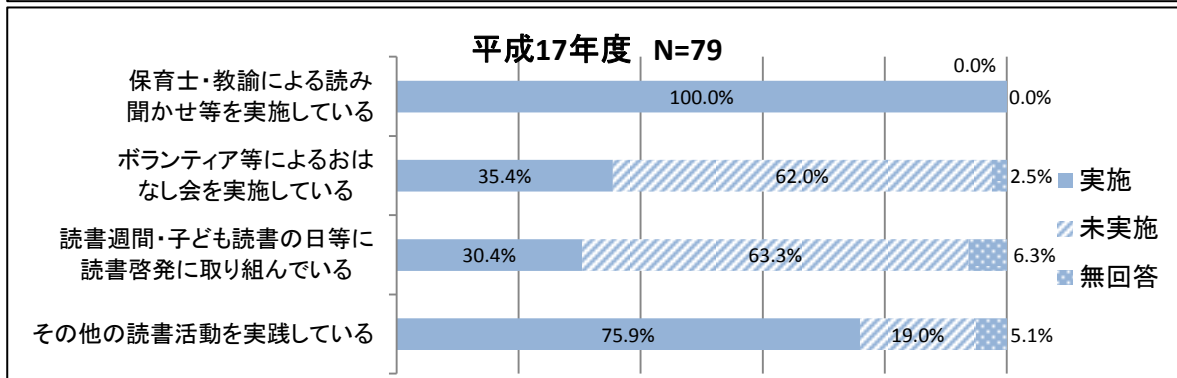
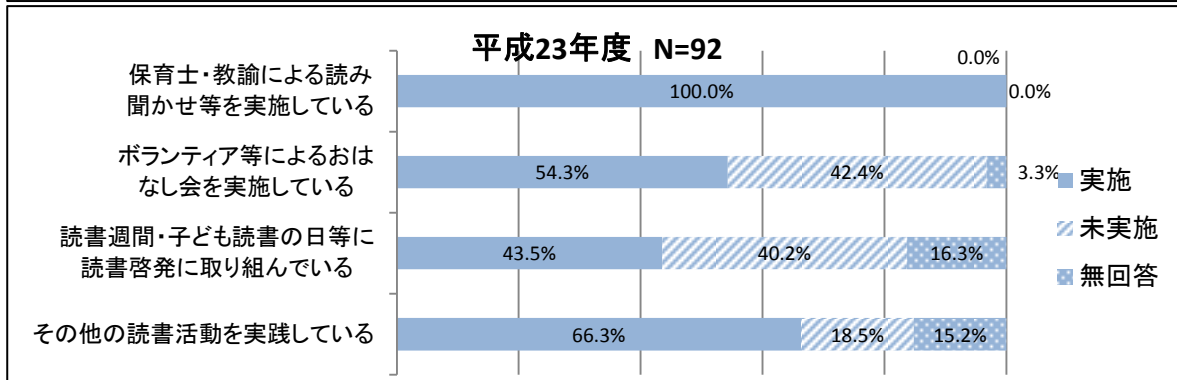
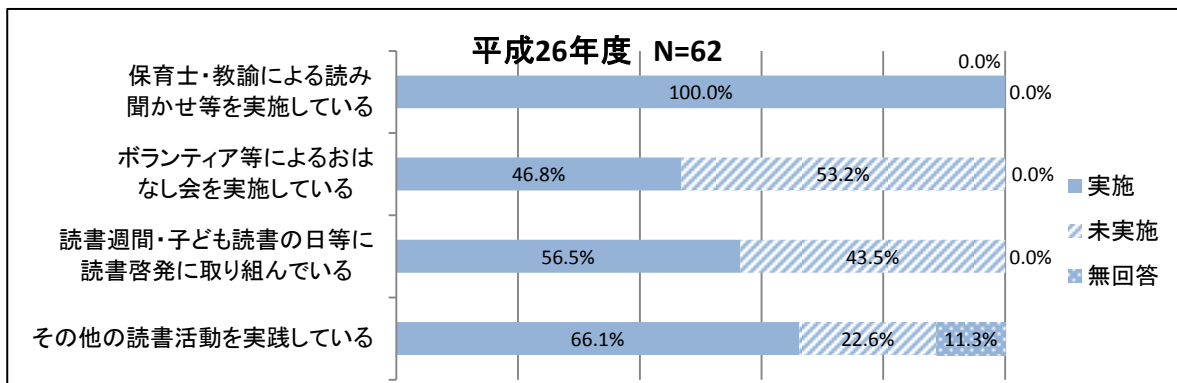
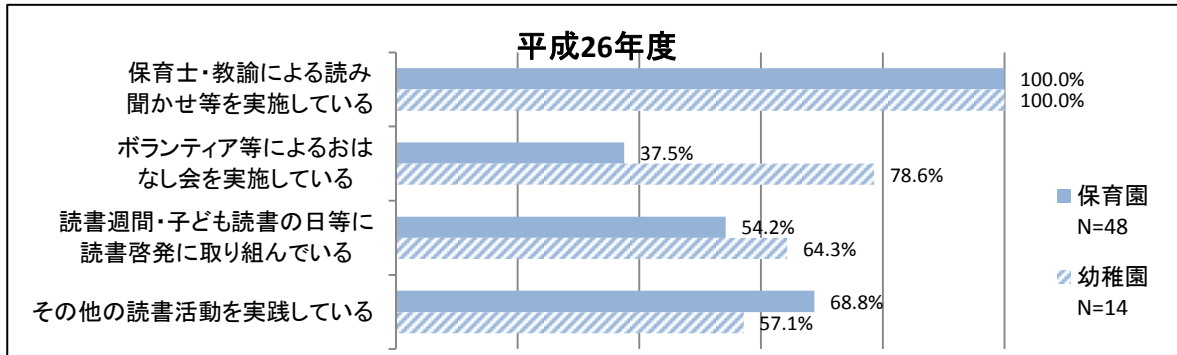
### 3 保育所・幼稚園における子どもの読書活動等の現状

#### (1) 読書機会の提供について

##### 【読書活動の実施】

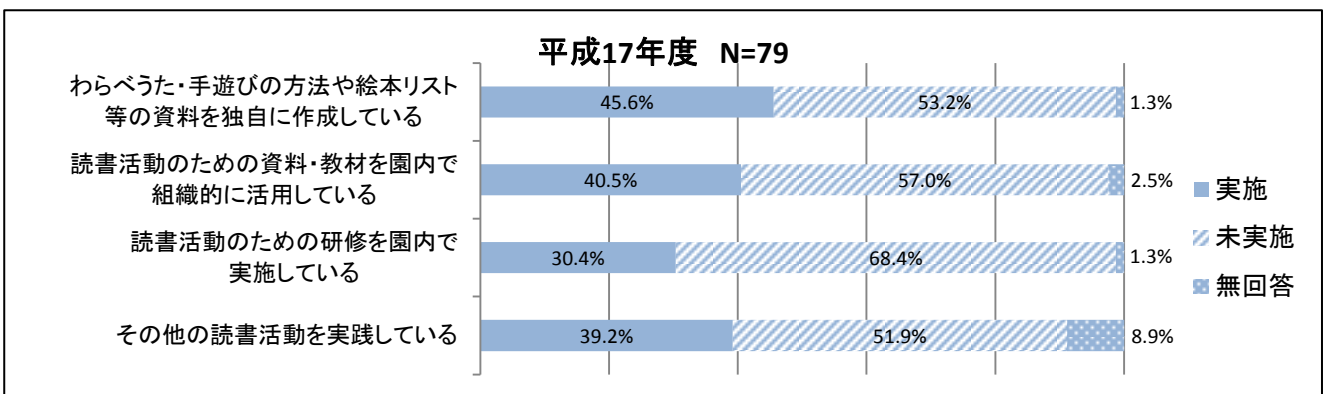
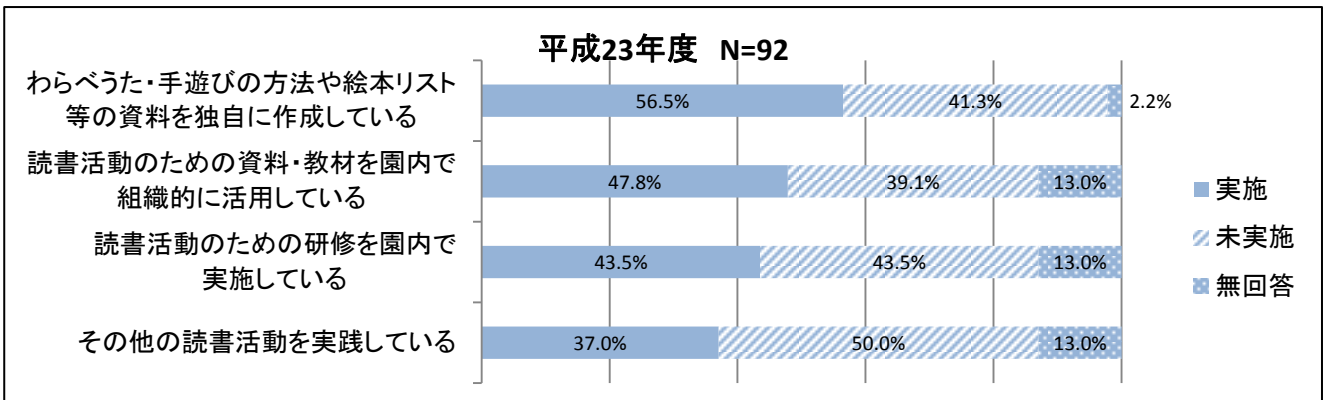
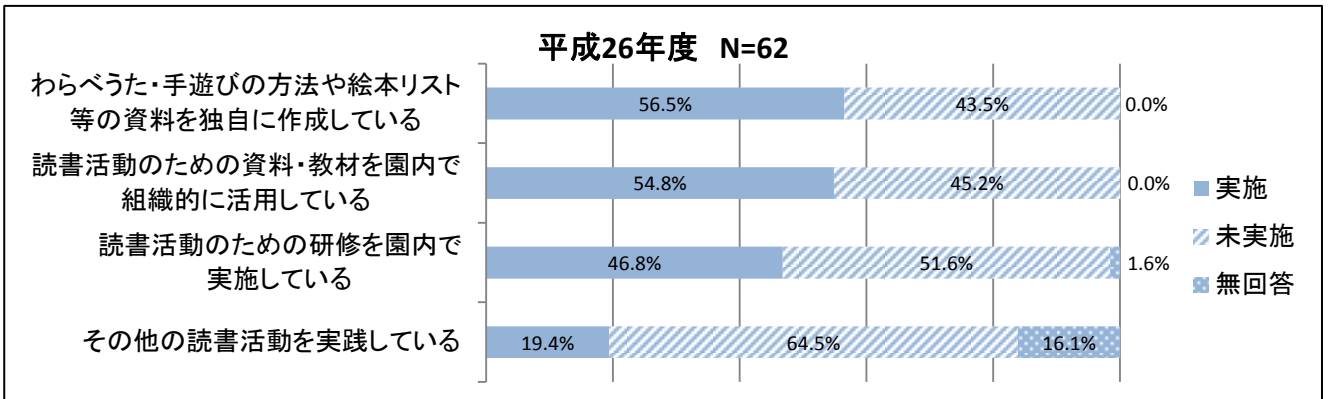
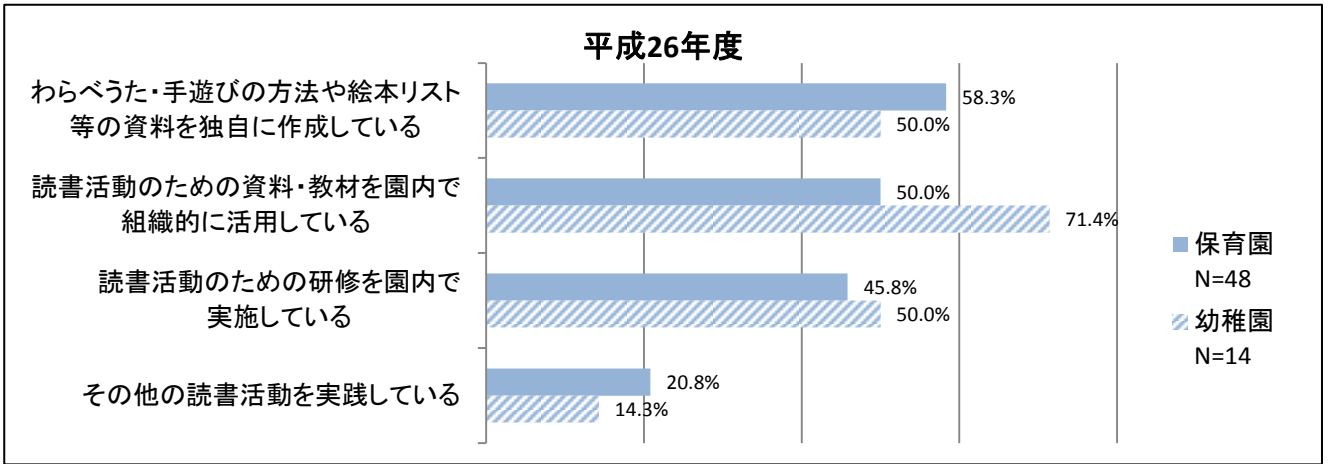
●「読書週間・子ども読書の日等に読書啓発に取り組んでいる」(56.5%)は、前回(43.5%)・前々回(30.4%)よりあがってきている。

●保育士・教諭による読み聞かせ等の実施は、前回・前々回調査と同様に100%の実施である。



【読書指導の充実】

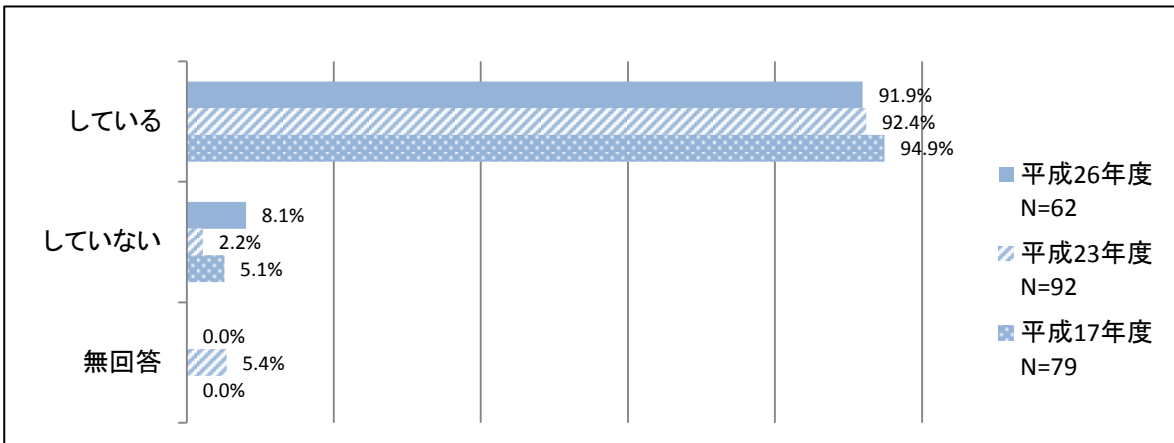
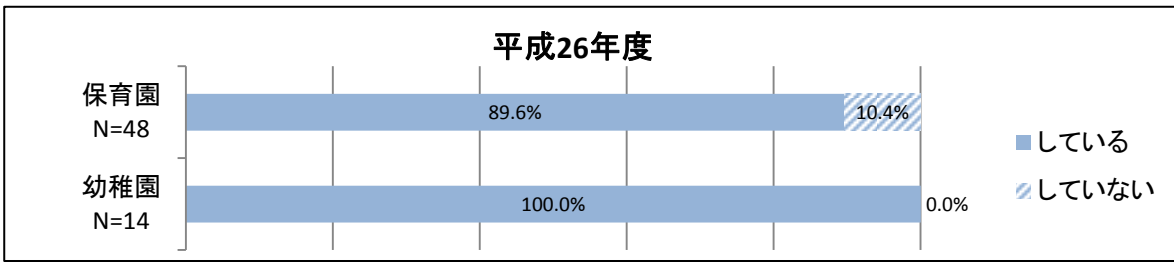
●どの項目についても前回より実施率はあがっている。読書活動に対する意識が高まってきていると思われる。



(2) 読書環境の整備・充実について

【読書環境の整備】

①園内に図書コーナー等を設置していますか。



②「している」と答えた場合、絵本等をどのように用意したか記入してください。

平成 26 年度

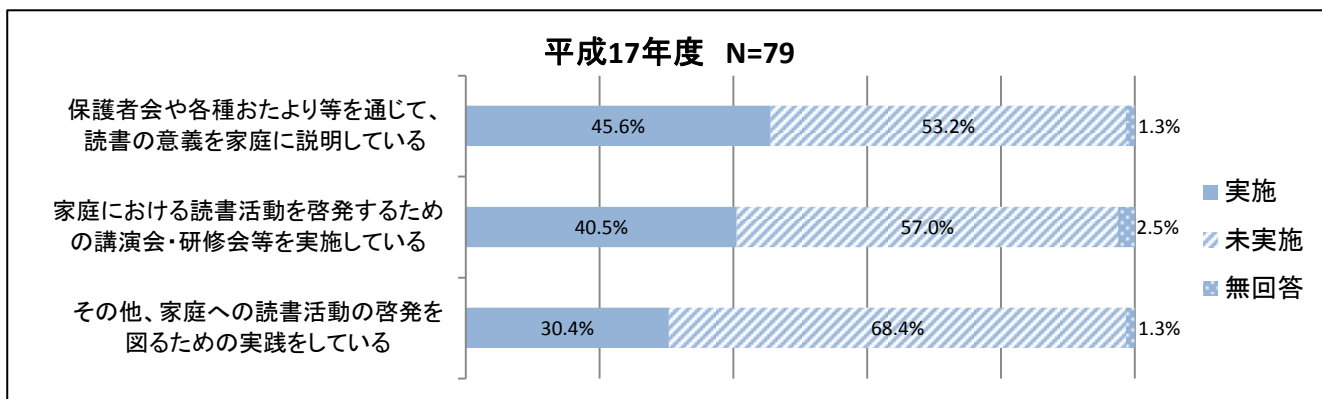
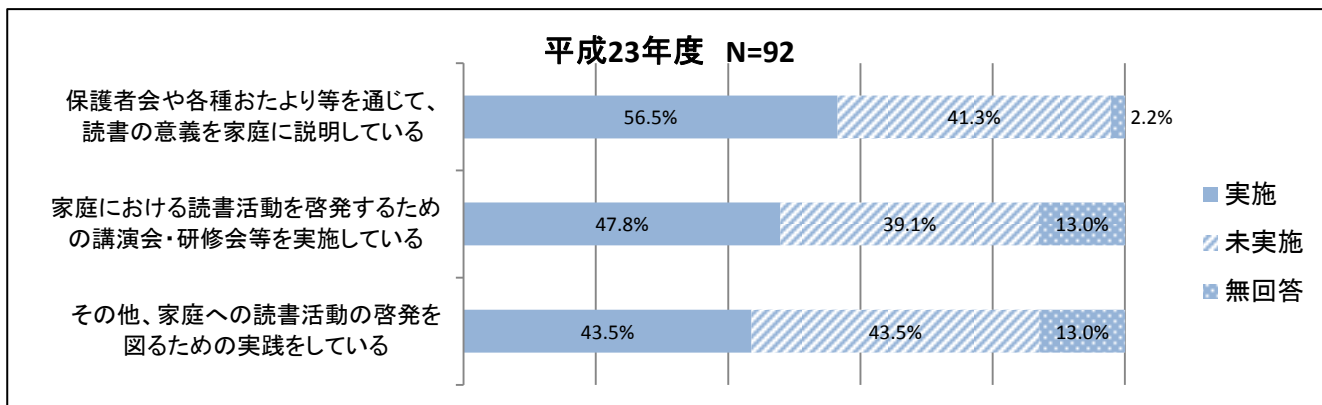
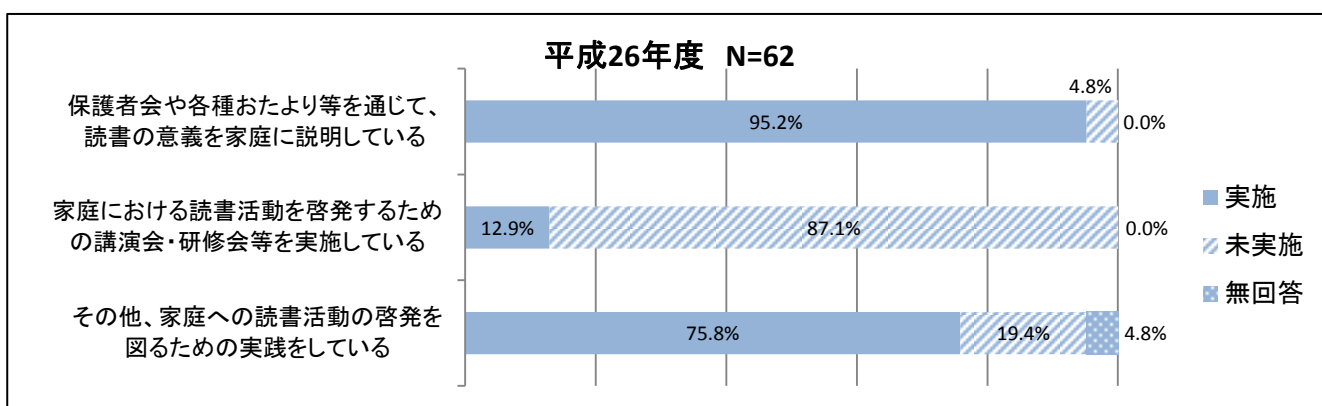
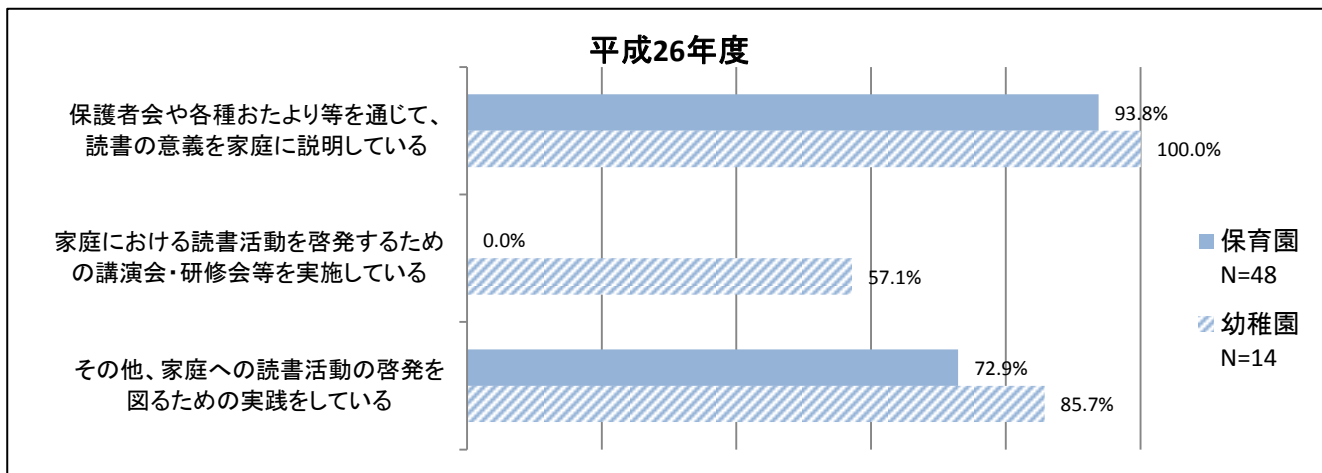
● 園の予算で購入・市の備品として教育施設課の配当予算で購入	30
● 季節、年齢、子どもの興味にあわせて購入	15
● 保護者会で購入	12
● 個人・企業からの寄贈	11
● 図書館のリサイクル図書	8
● ジャンルで分類	6
● 保護者も手に取れる、いつでも利用できる図書コーナーの設置	4
● 年少、年中、年長それぞれの絵本コーナーの設置	2
● 絵本の部屋のほか、保育室での季節の絵本の展示	2
● 絵本コーナーの他に各クラスに絵本ラックを設置	2
● 教育課程において読むべき絵本や、心の発達につながる絵本を用意	2
● 以前からの蔵書	1



### (3) 読書活動の普及・啓発について

#### 【家庭への啓発】

●「保護者会や各種おたより等を通じて、読書の意義を家庭に説明している」が、95.2%まで伸びてきている。

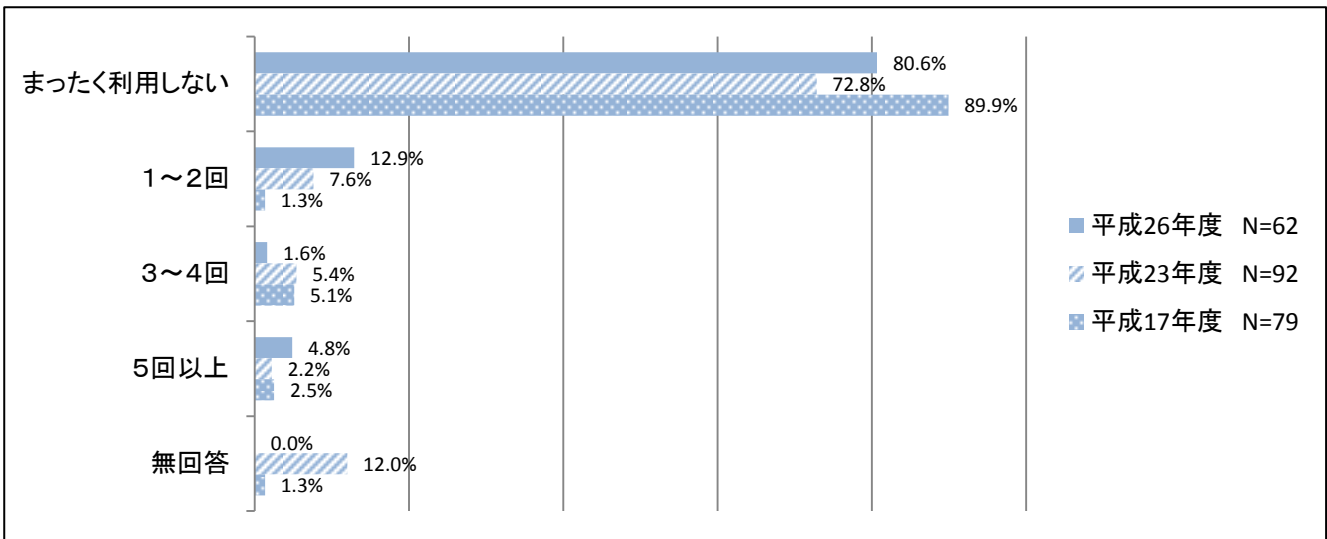


(4) 関係機関との連携・協力について

【関係機関の利用状況】

● 図書館が近くにあるかどうか利用しやすさに影響している。

① 図書館の「団体貸出し」を1年間で、どの程度利用しますか。



② その他、関係機関との連携があれば記入してください。

平成 26 年度

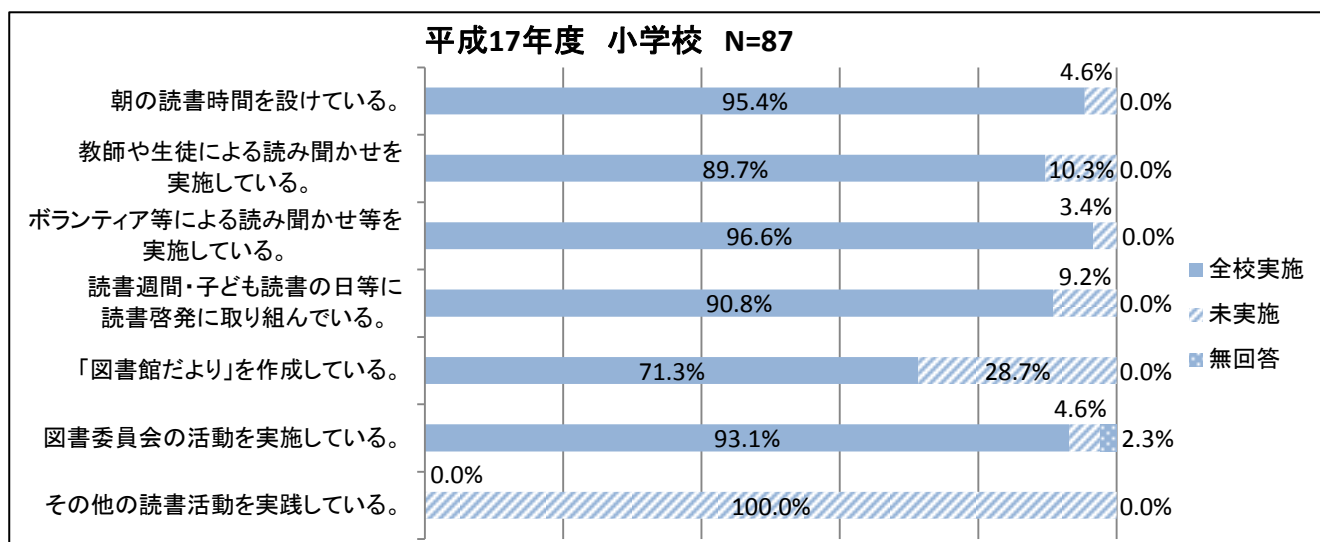
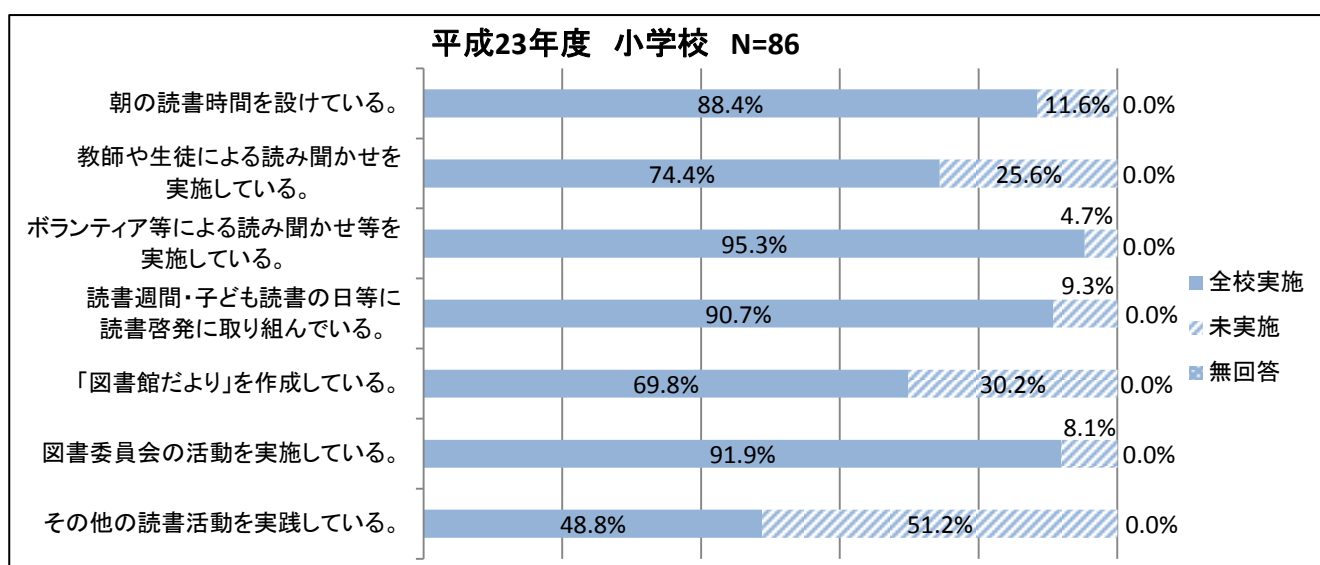
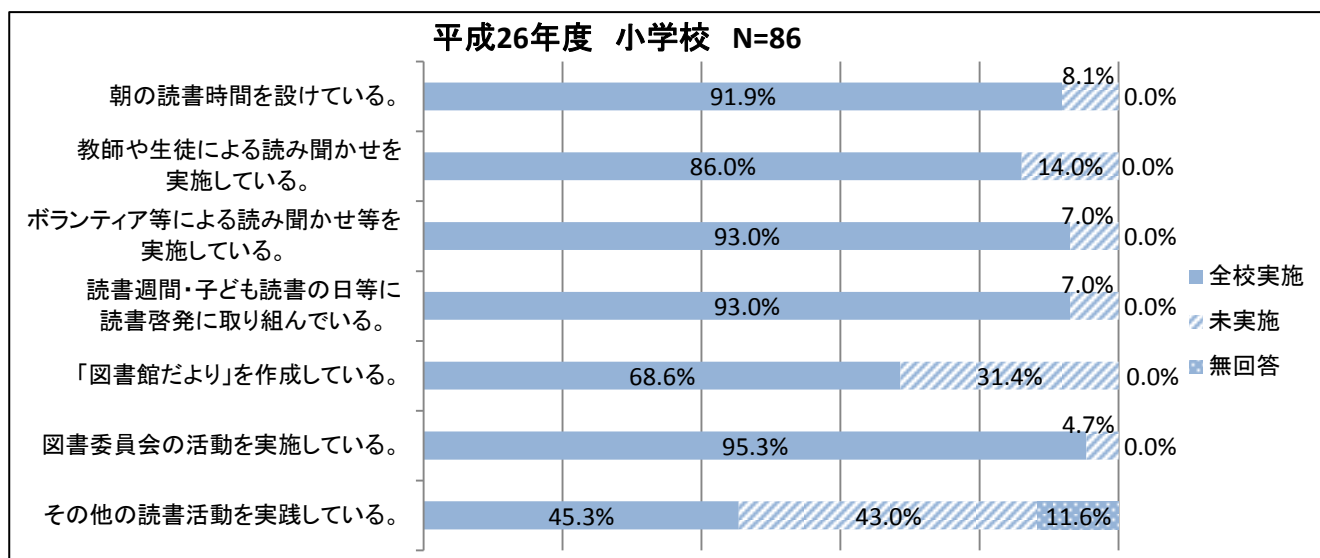
● 図書館でのイベントや他の施設でのおはなし会に参加	5
● 職員が個人の図書館カードで絵本を借り、読み聞かせに使用	4
● 移動図書館(BM)やこかげ文庫の利用	4
● 図書館のリサイクル図書の活用	3
● 職員研修会への参加	1
● 近隣の小学校の図書館を利用	1

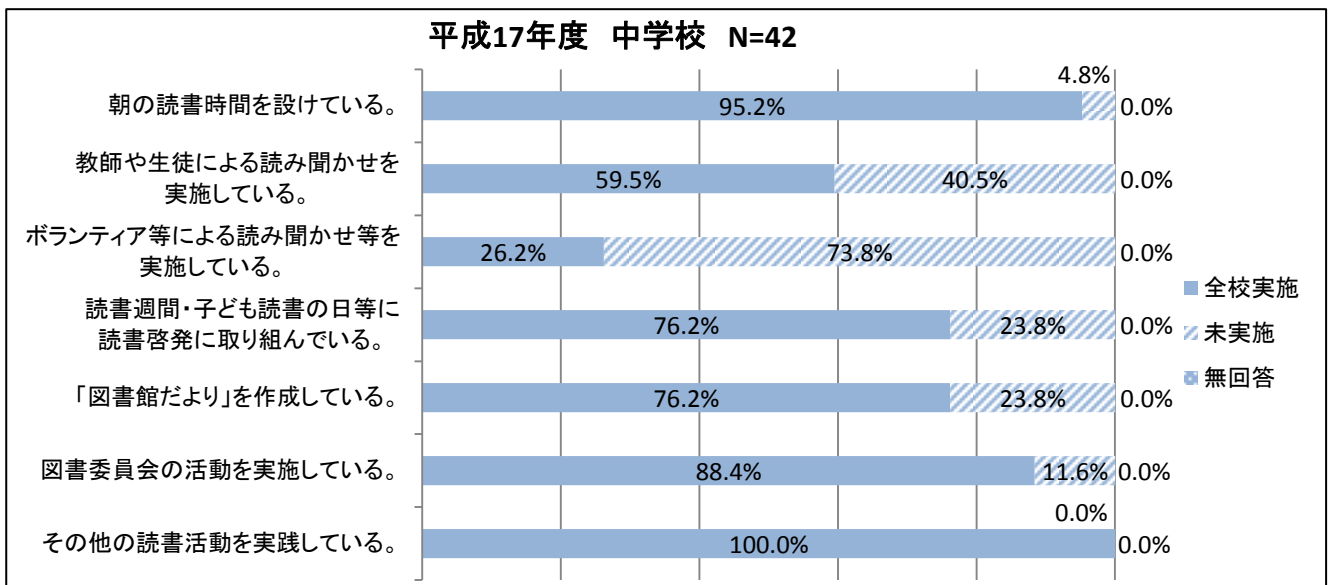
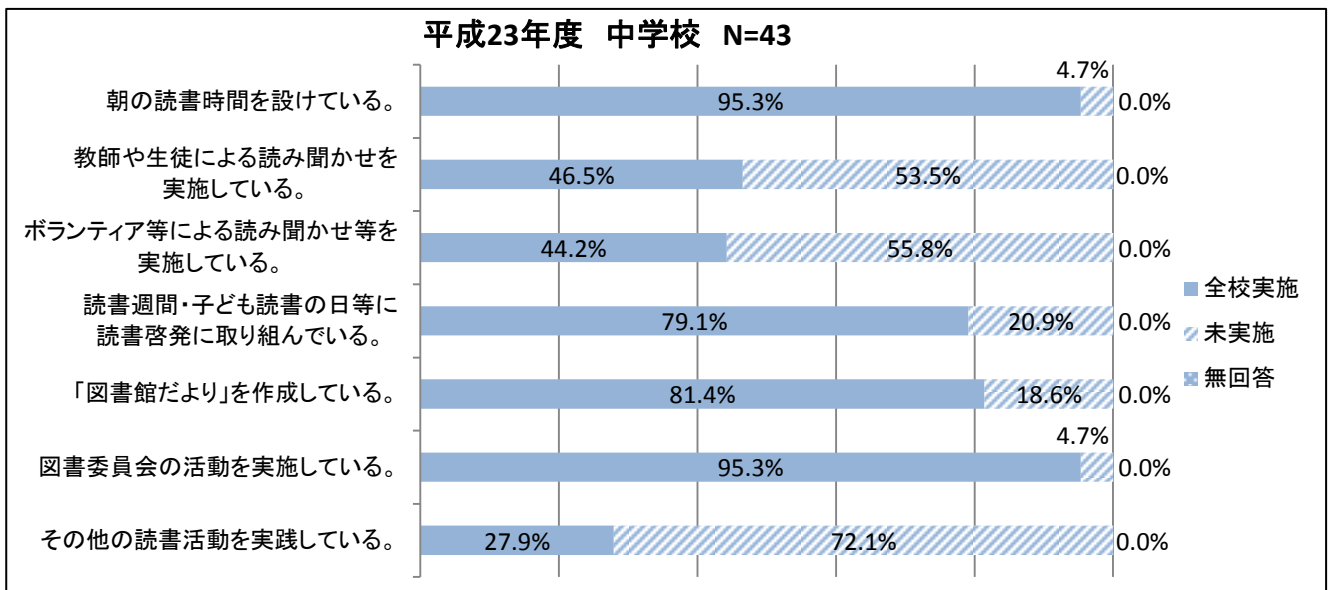
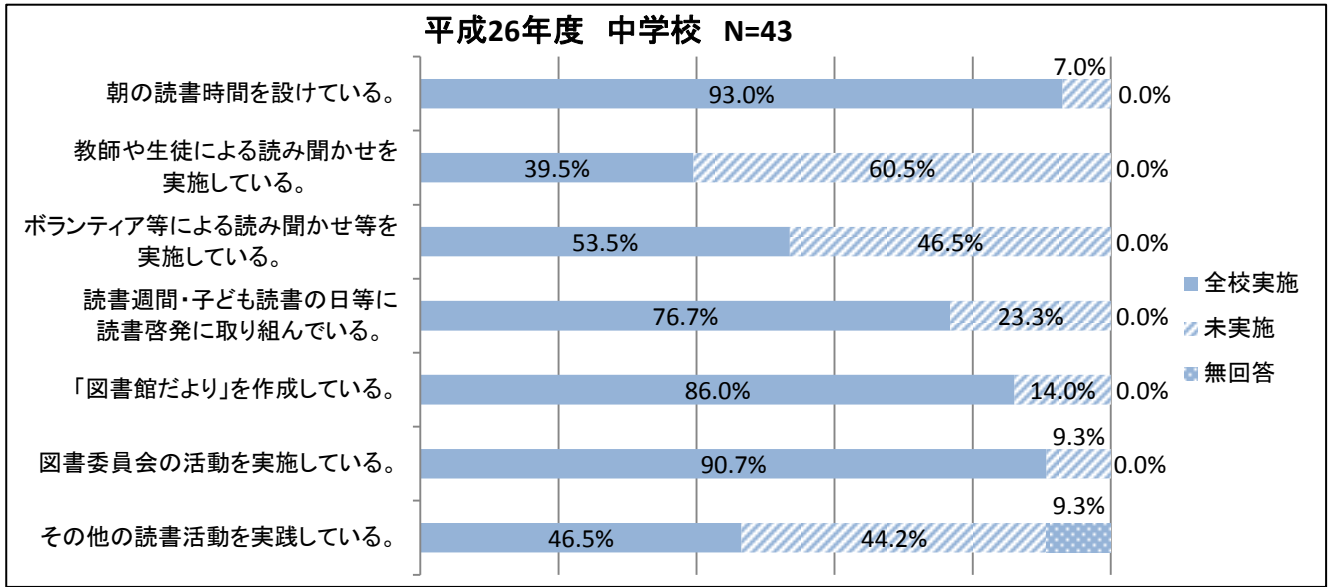
## 4 学校における子どもの読書活動等の実態と学校図書館の現状

### (1) 読書機会の提供について

#### 【読書活動の実施】

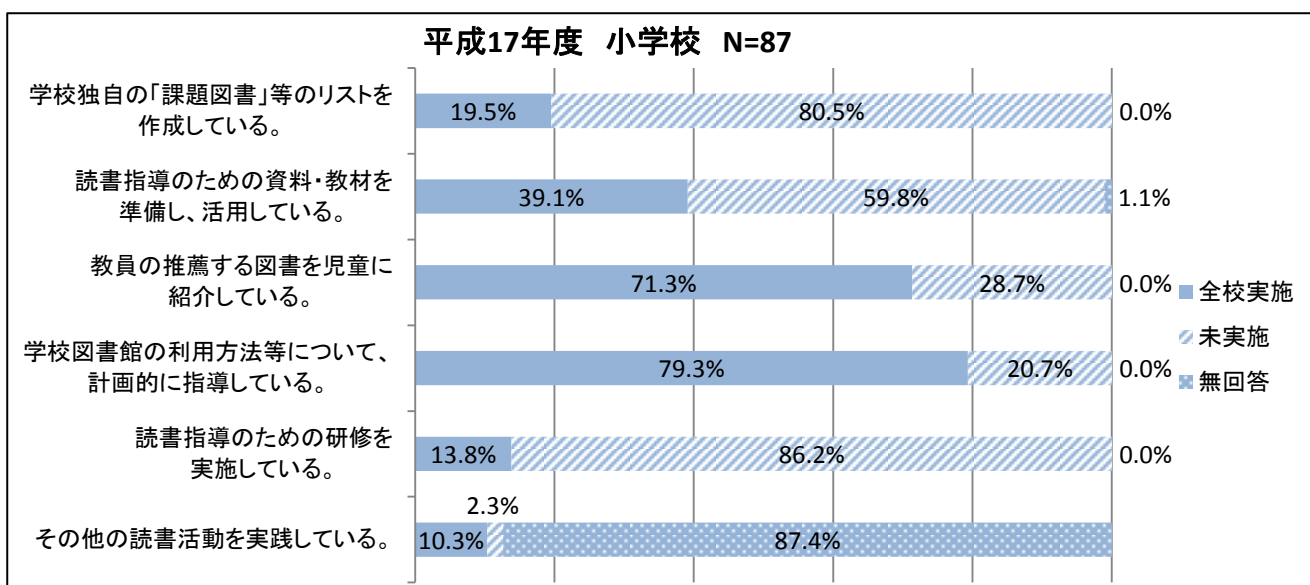
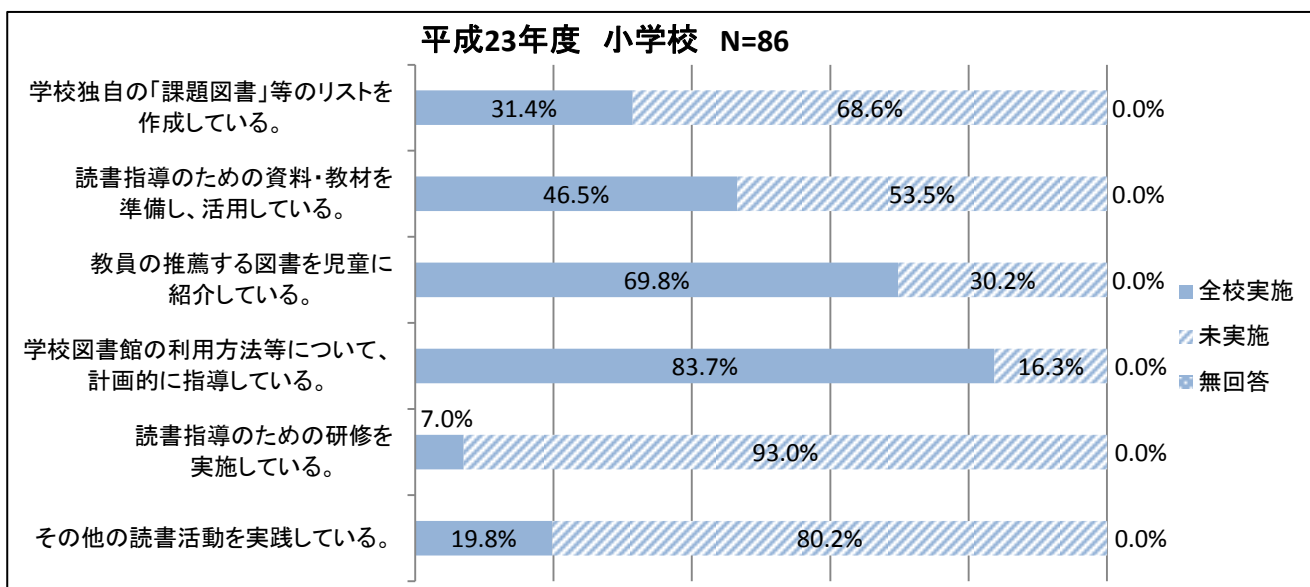
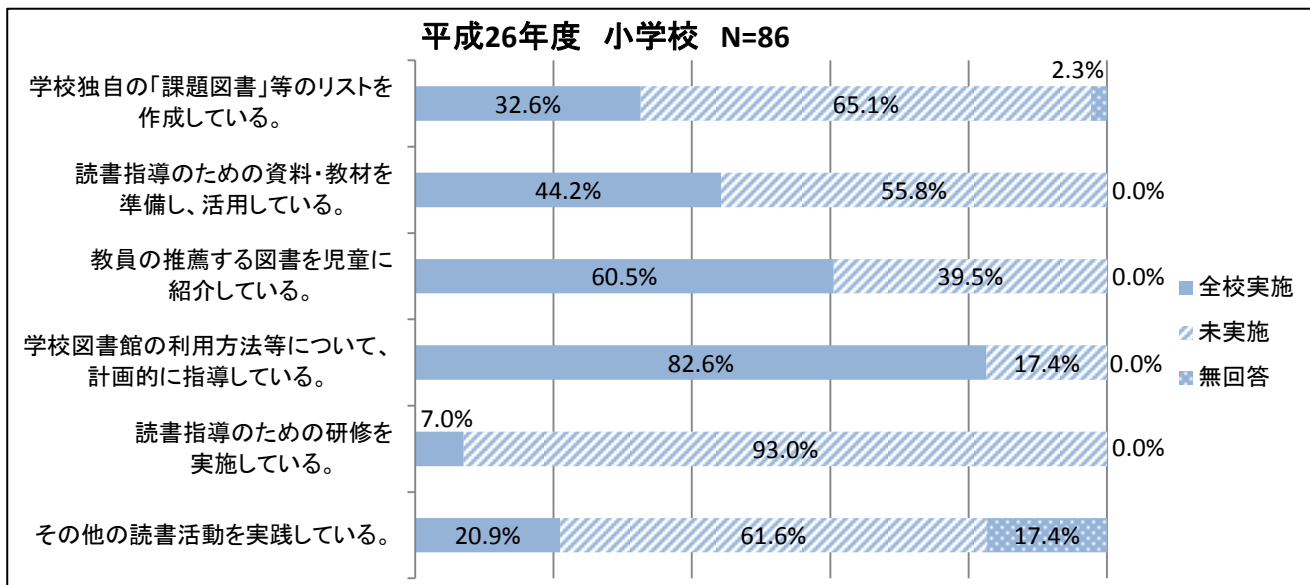
- 朝の読書時間は、90%以上の学校で実施されている。
- 読み聞かせは、教員や生徒により、小学校(86.0%)、中学校(39.5%)で実施している。また、ボランティアにより小学校(93.0%)、中学校(53.5%)で実施している。
- 読書週間や子ども読書の日を意識した活動が進められている。





(2) 読書環境の整備・充実について

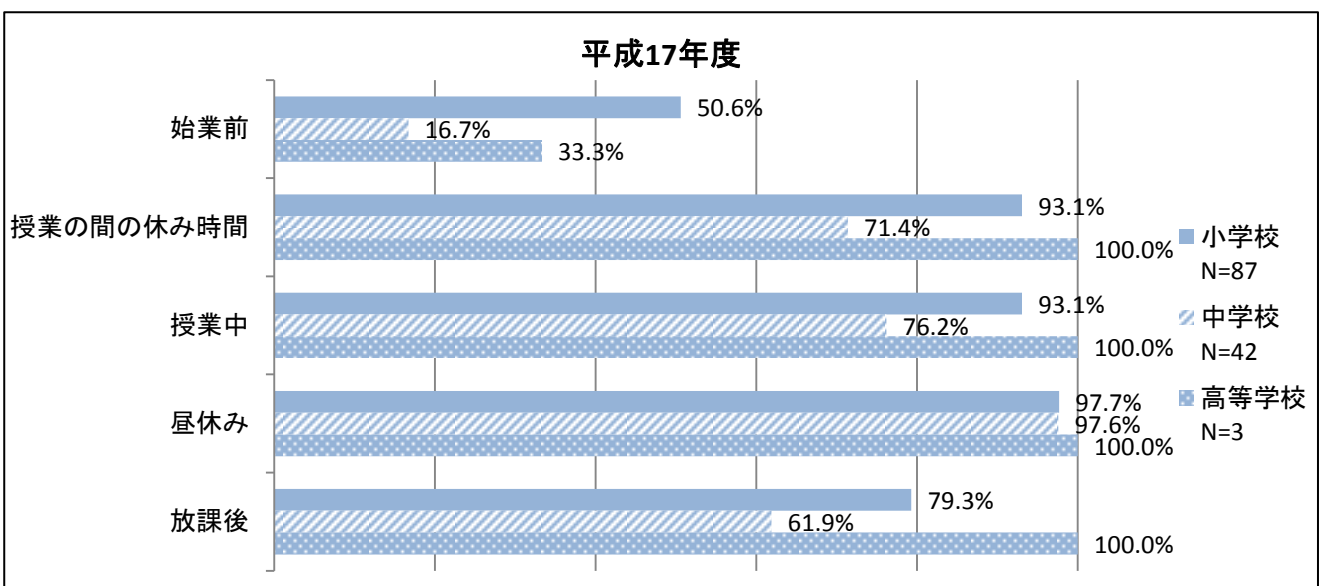
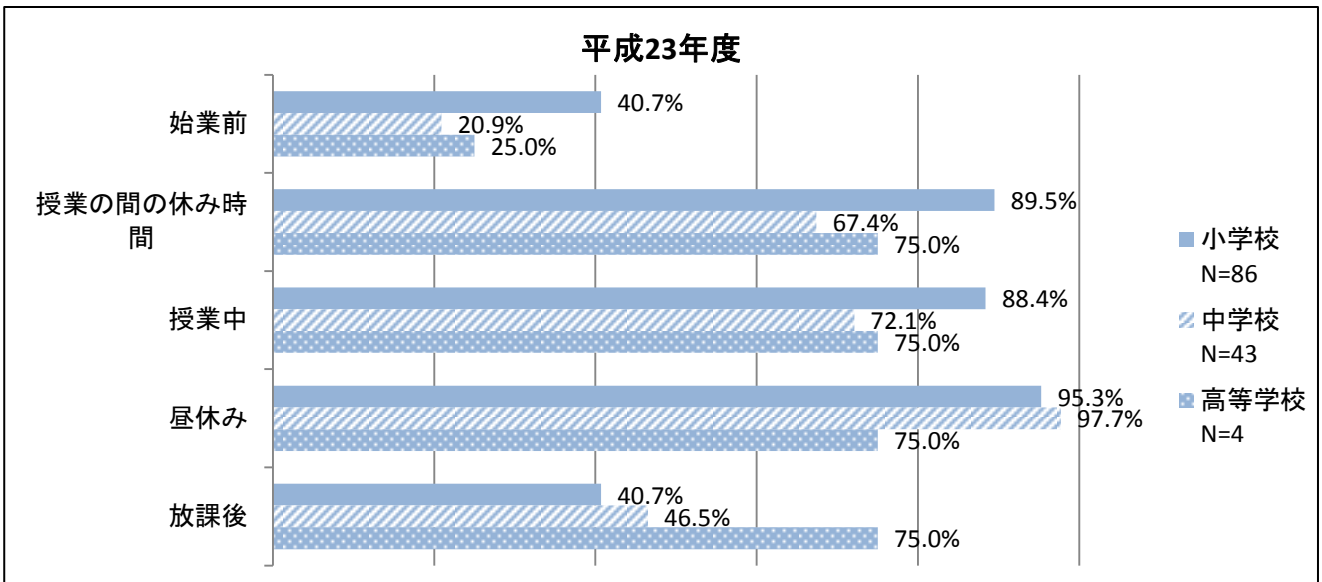
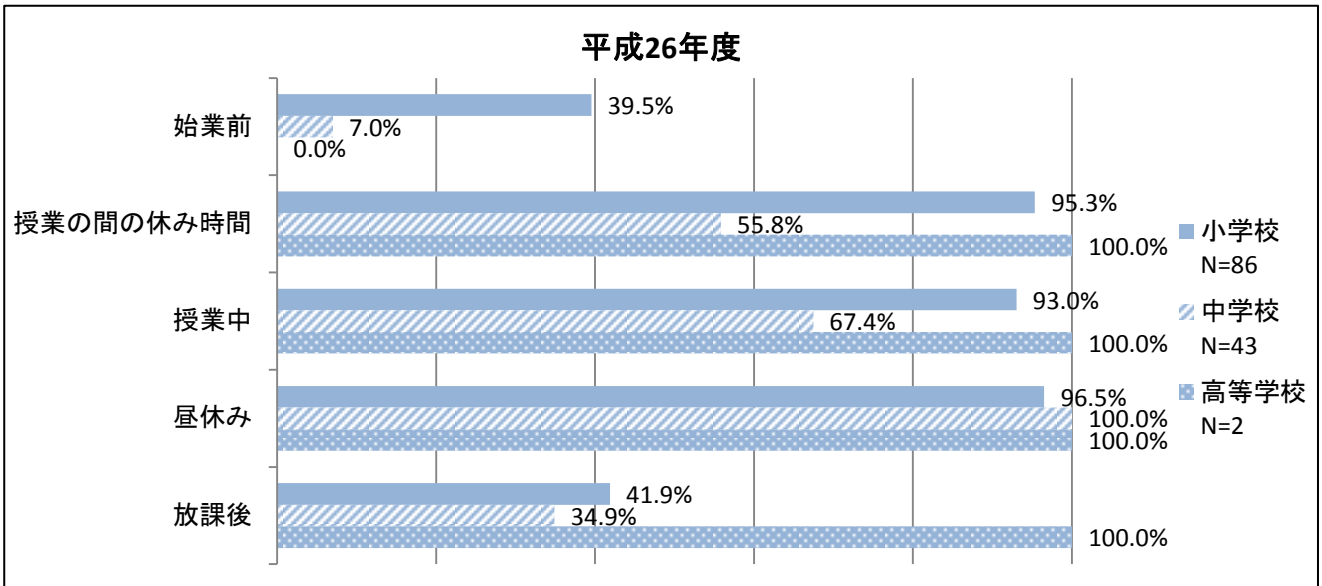
【読書指導の充実】



【学校図書館の運営状況】

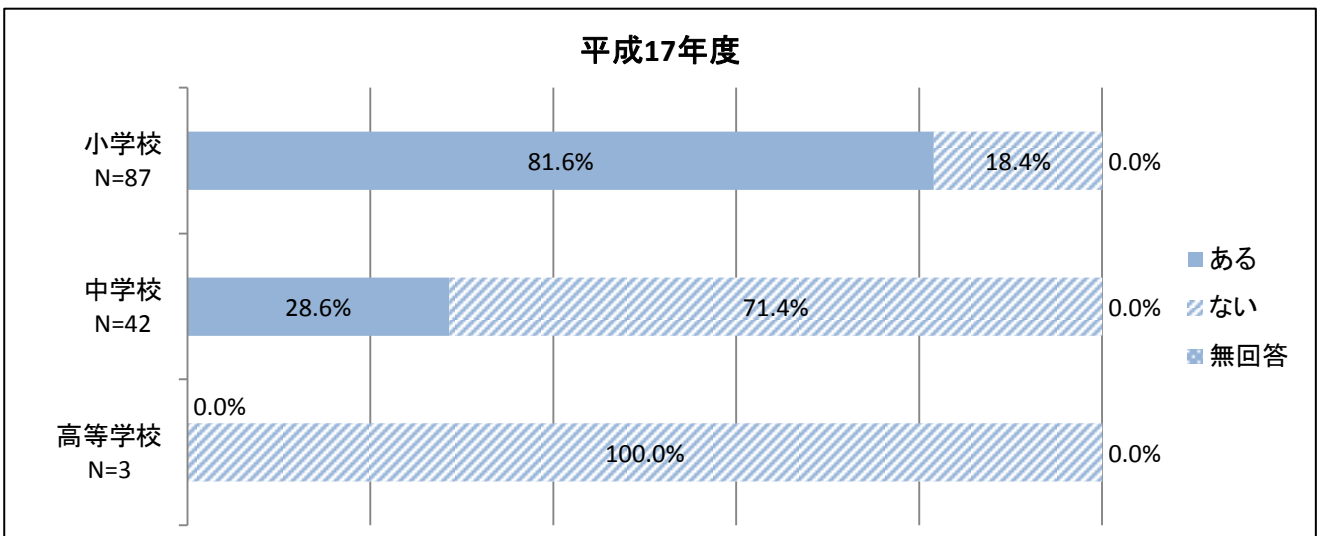
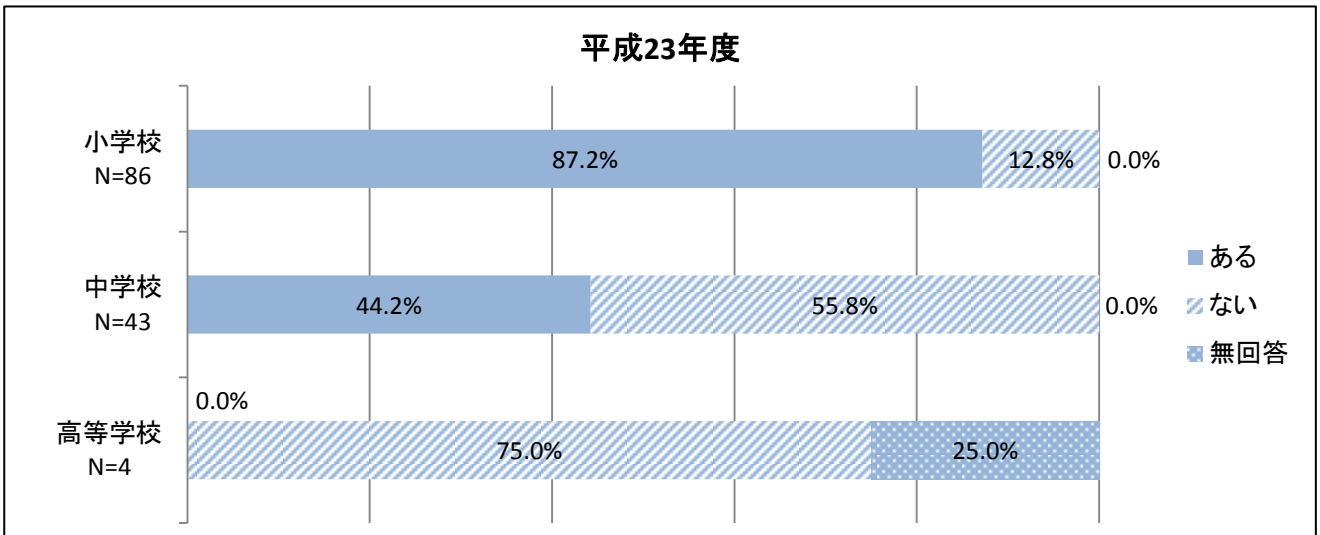
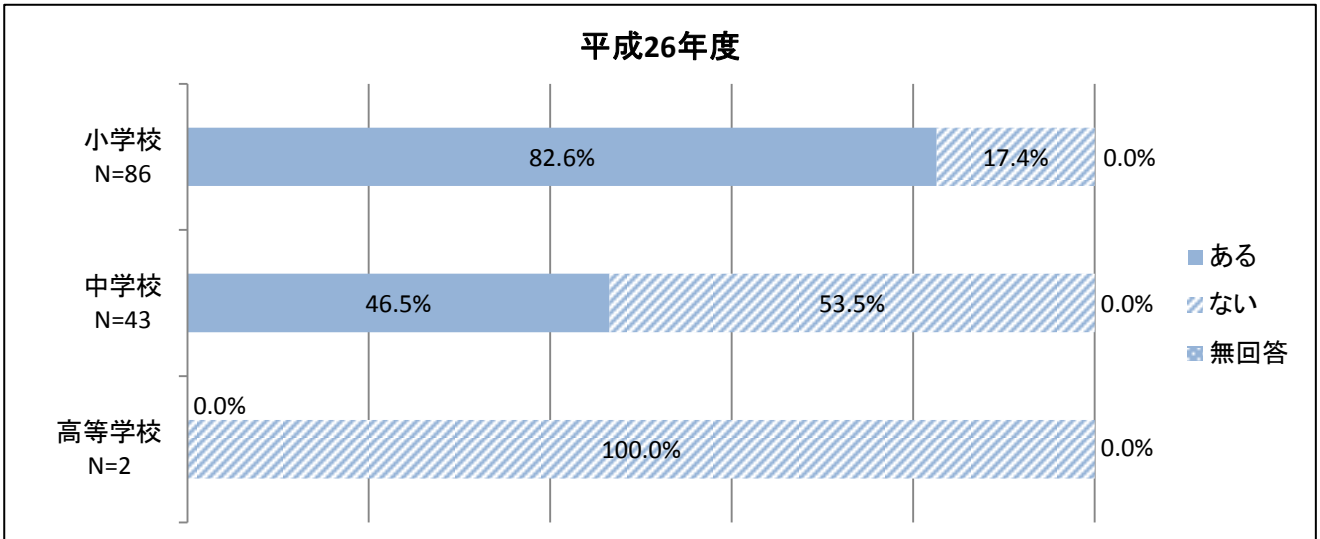
① 学校図書館が開館している時間帯を記入してください。(複数回答可)

● 昼休みには、ほとんどの学校図書館が開館している。

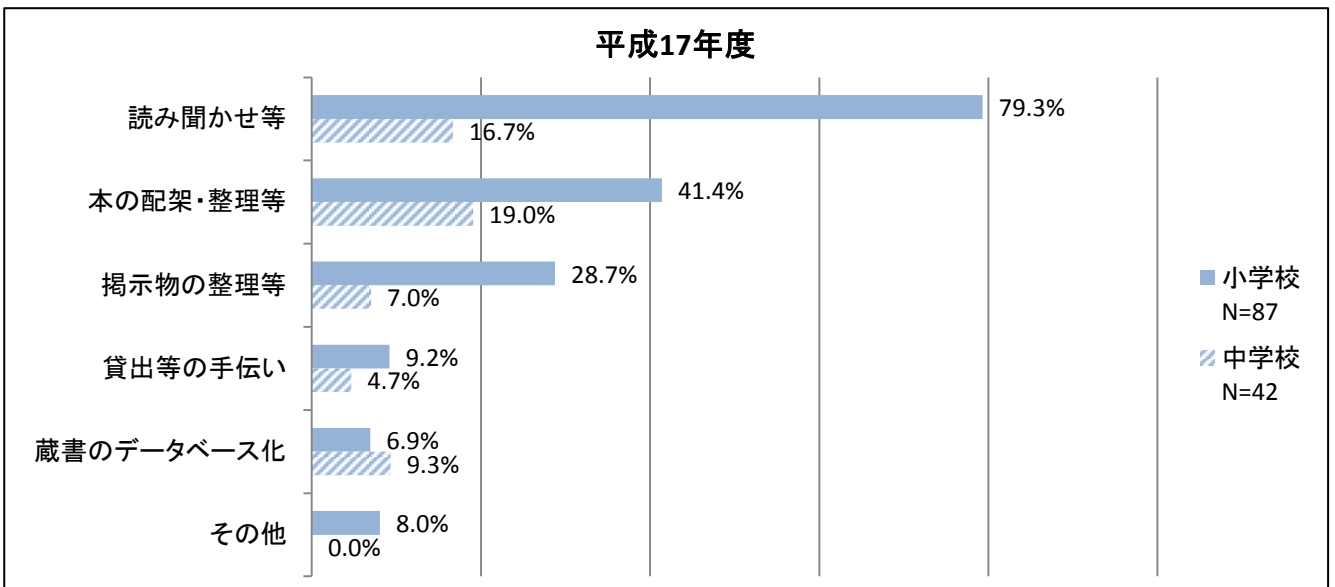
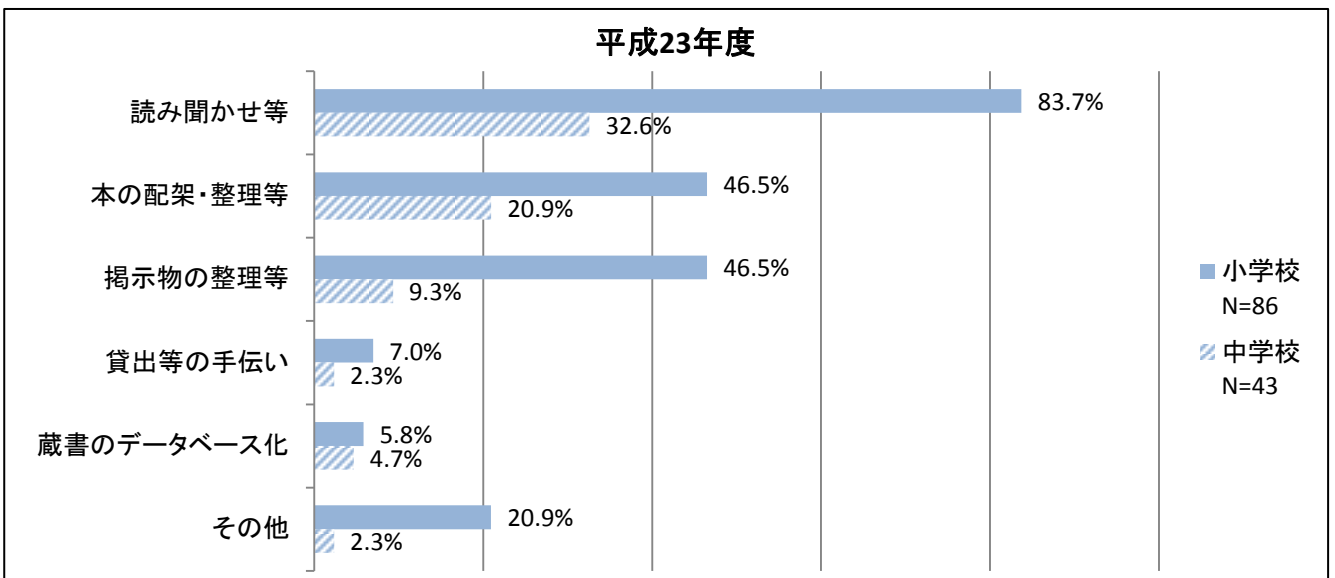
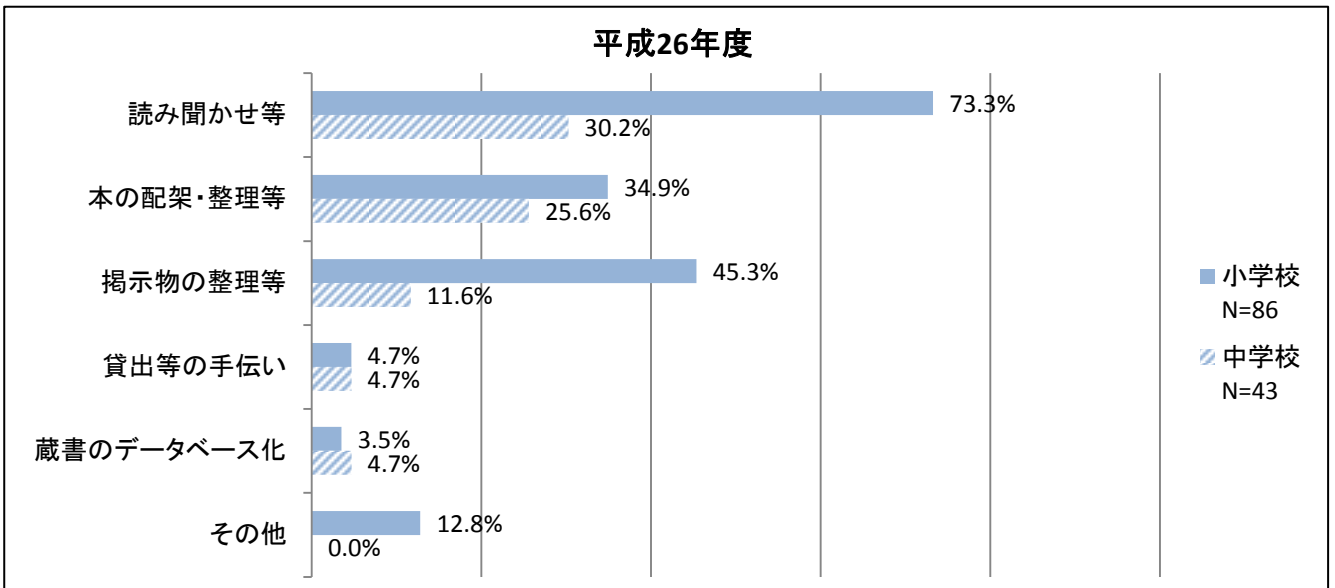


②学校図書館への、ボランティアによる協力がありますか。

●ボランティアによる協力は、小学校(82.6%)では前回調査(87.2%)より減ってきているが、中学校(46.5%)では前回調査(44.2%)より増えてきている。



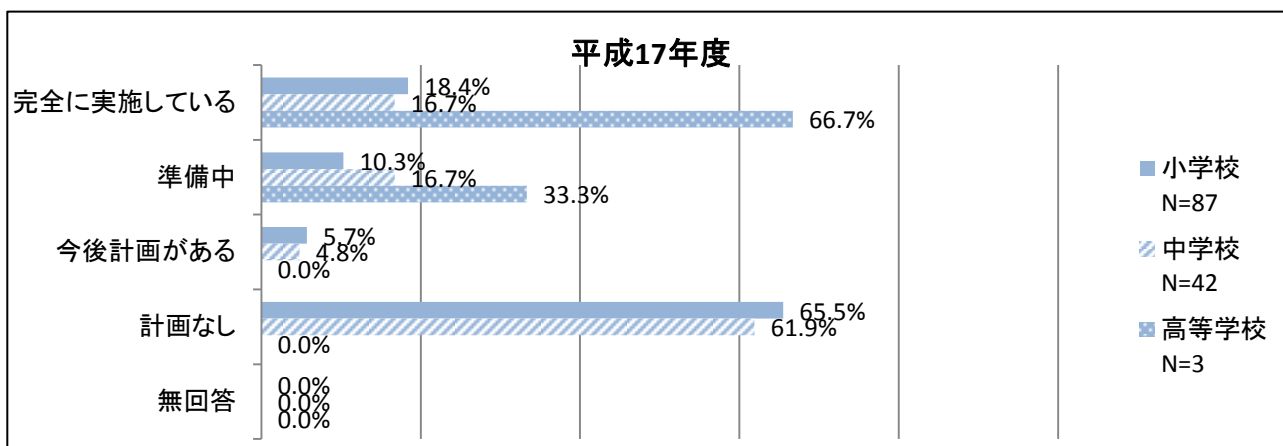
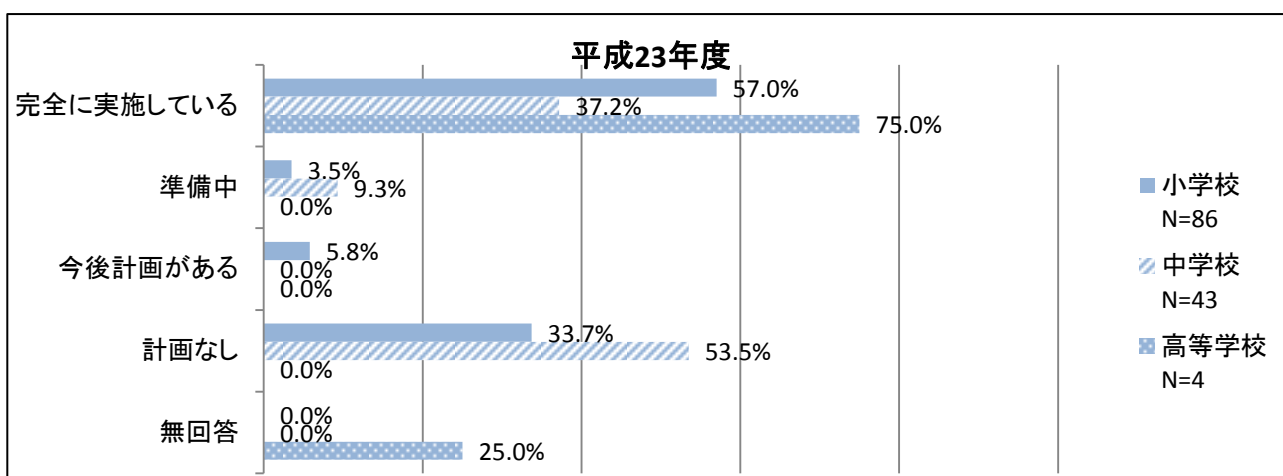
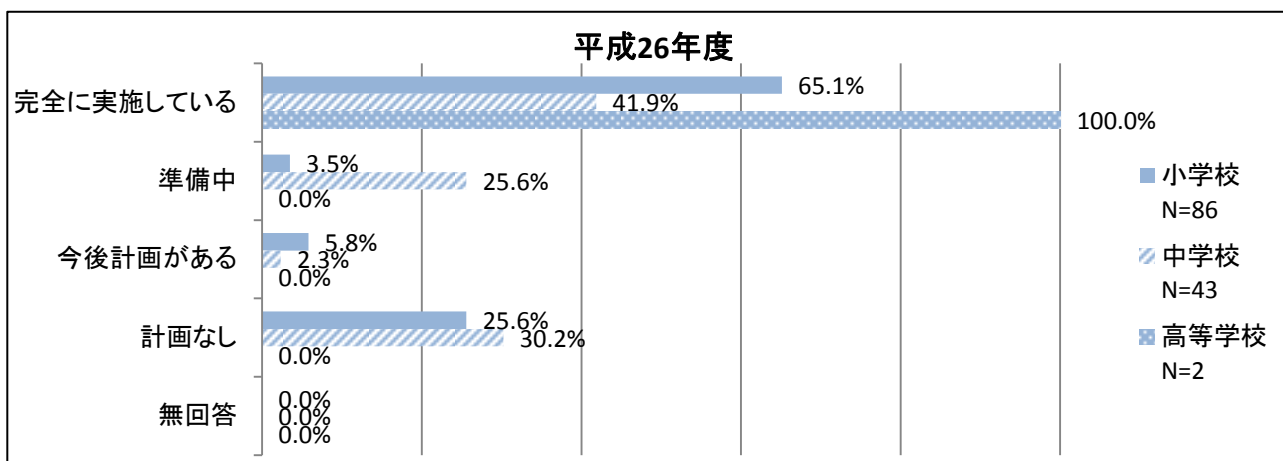
③ 「ある」と答えた場合、どのような活動をされていますか。(複数回答可)





④ 学校図書館の蔵書をデータベース化していますか。(平成26年6月現在)

●学校図書館の蔵書のデータベース化が完全実施されているのは、小学校(65.1%)、中学校(41.9%)、高校(100%)となっており、各学校でデータベース化が進んでいる。



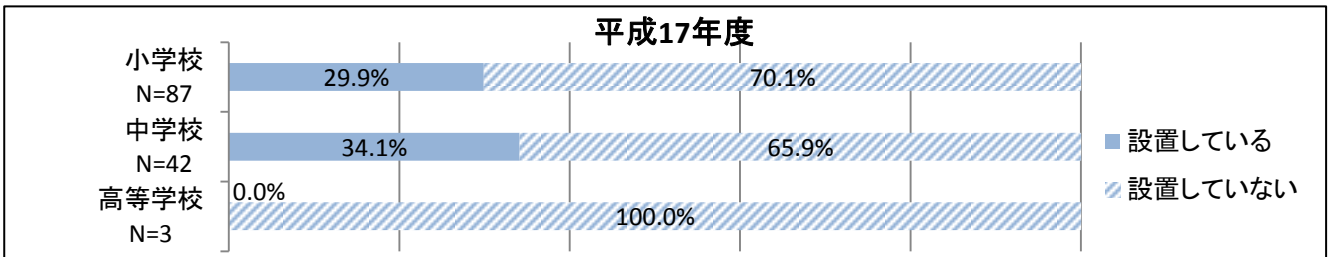
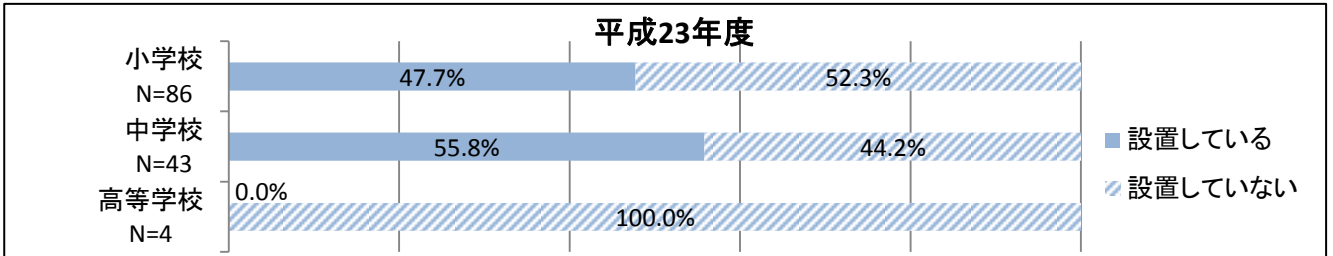
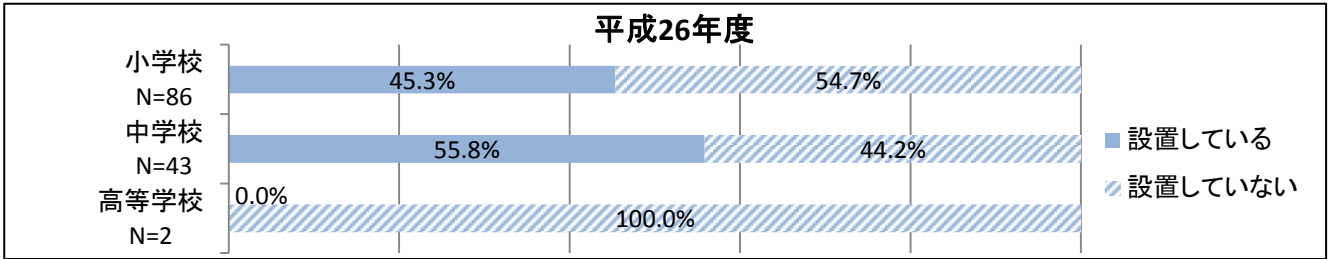
⑤「実施している」と答えた場合、使用しているソフト名はなんですか。

平成26年度

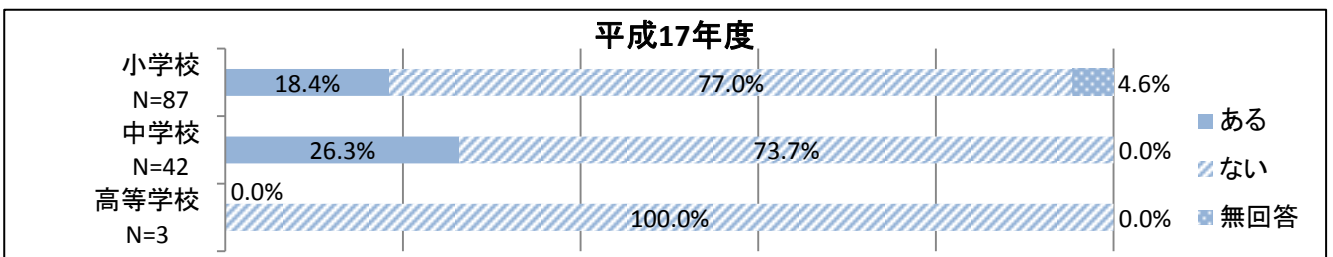
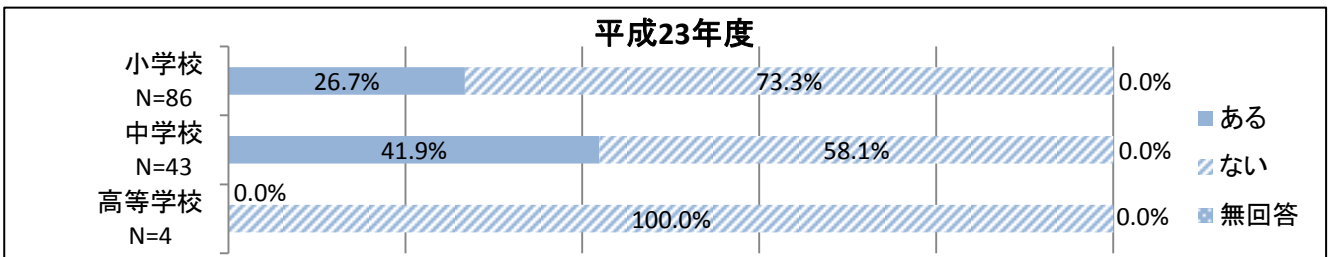
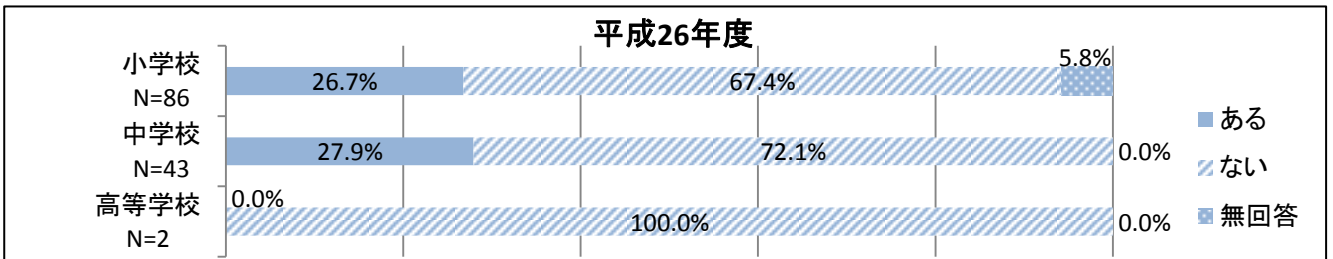
平成26年度	小学校	中学校	高等学校
● スクールプロ	31	10	1
● 探検隊	16	2	0
● 図書助くん	2	1	0
● その他	0	2	1
● 無回答	7	3	0

【障害に配慮した読書活動】

① 校内に特別支援学級を設置していますか。



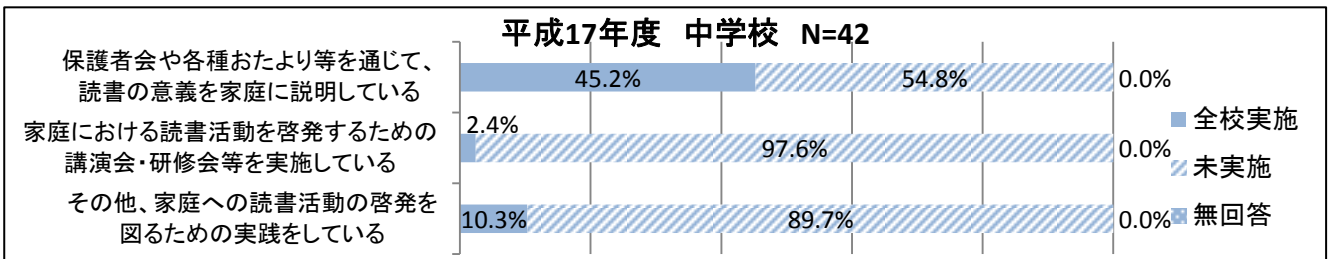
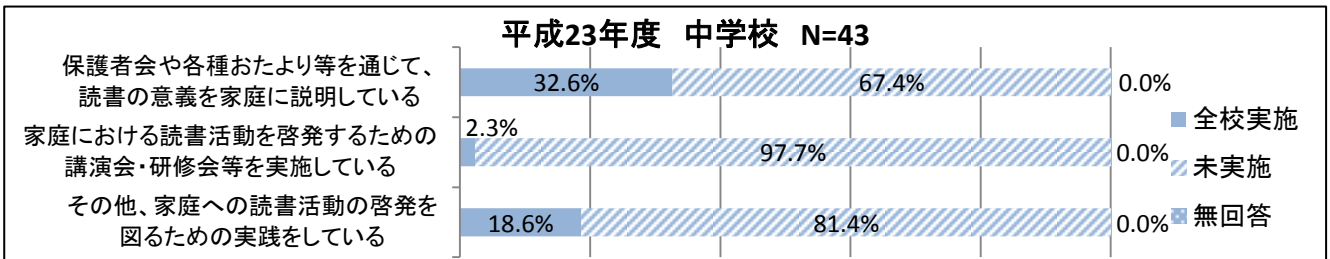
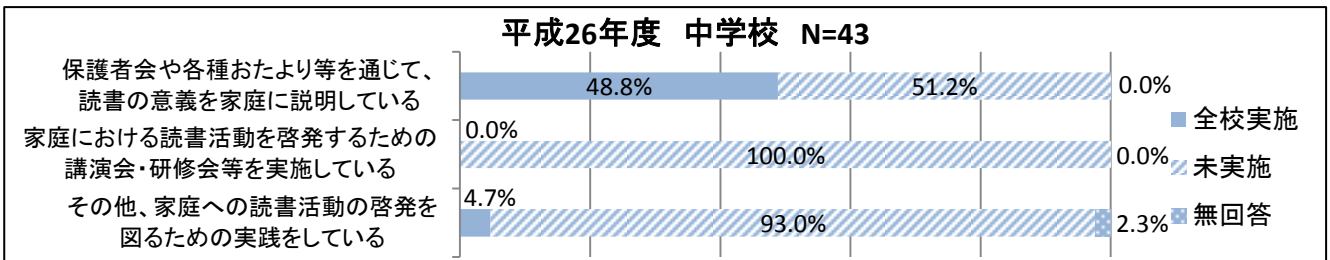
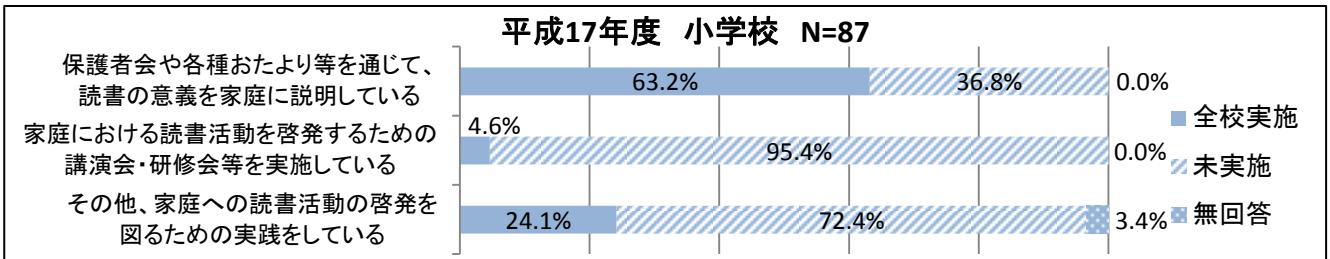
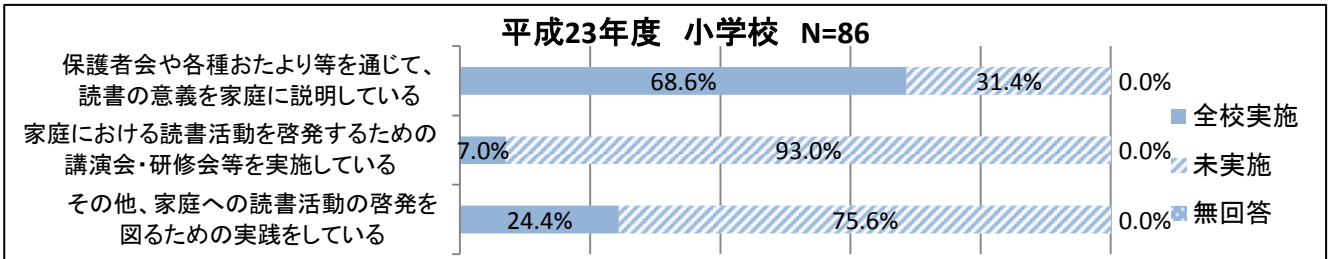
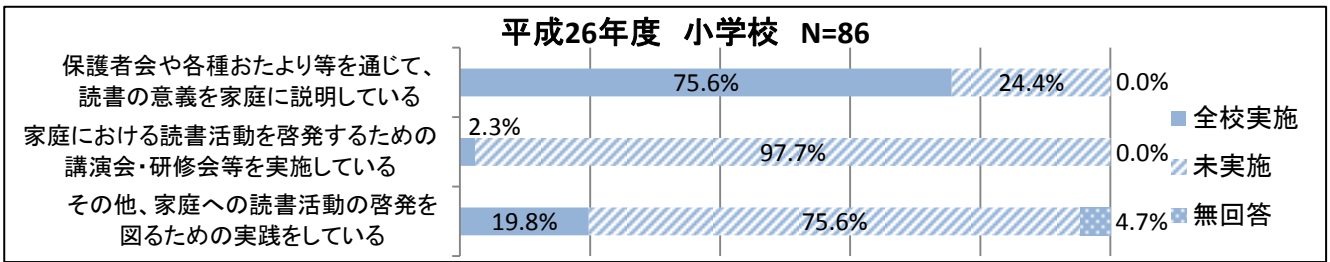
② 障害のある子どもが、読書活動をするために工夫していることがありますか。



### (3) 読書活動の普及・啓発について

#### 【家庭への啓発】

●各学校において、保護者会や図書だより等を通じ、読書の意義を伝えようとしている。

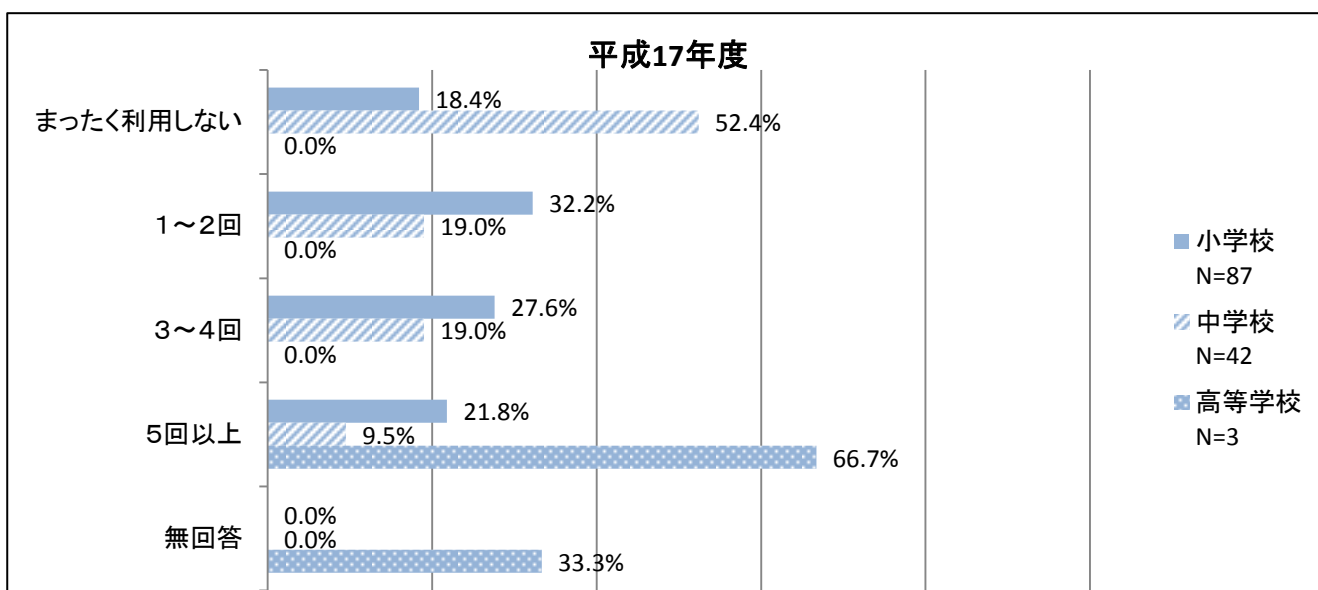
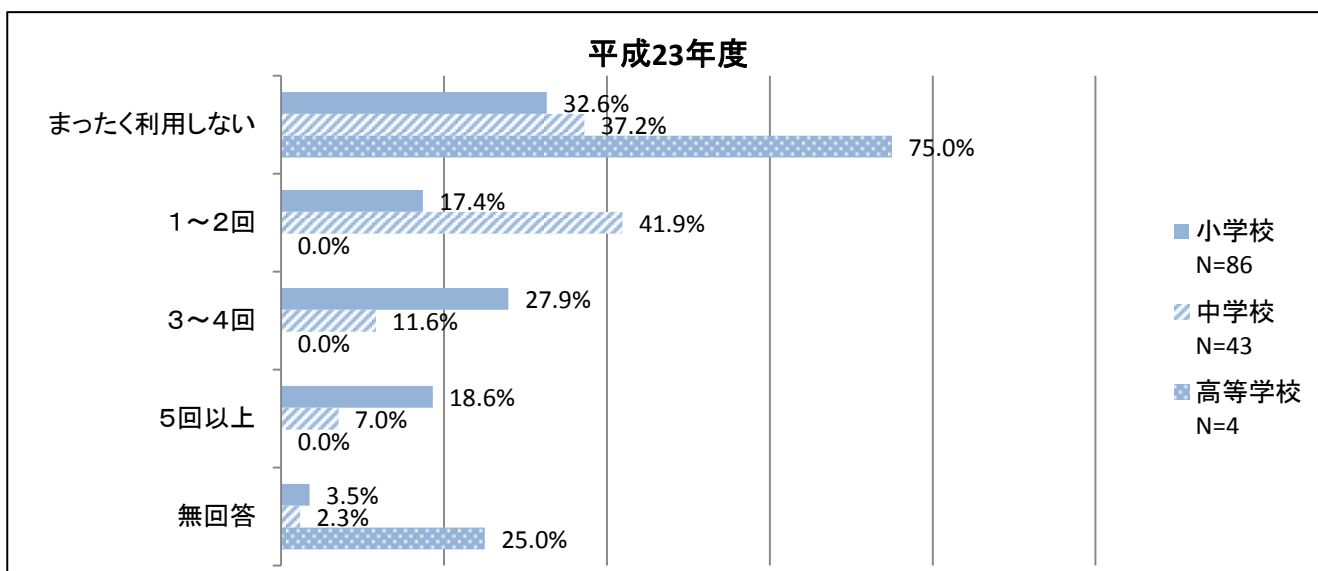
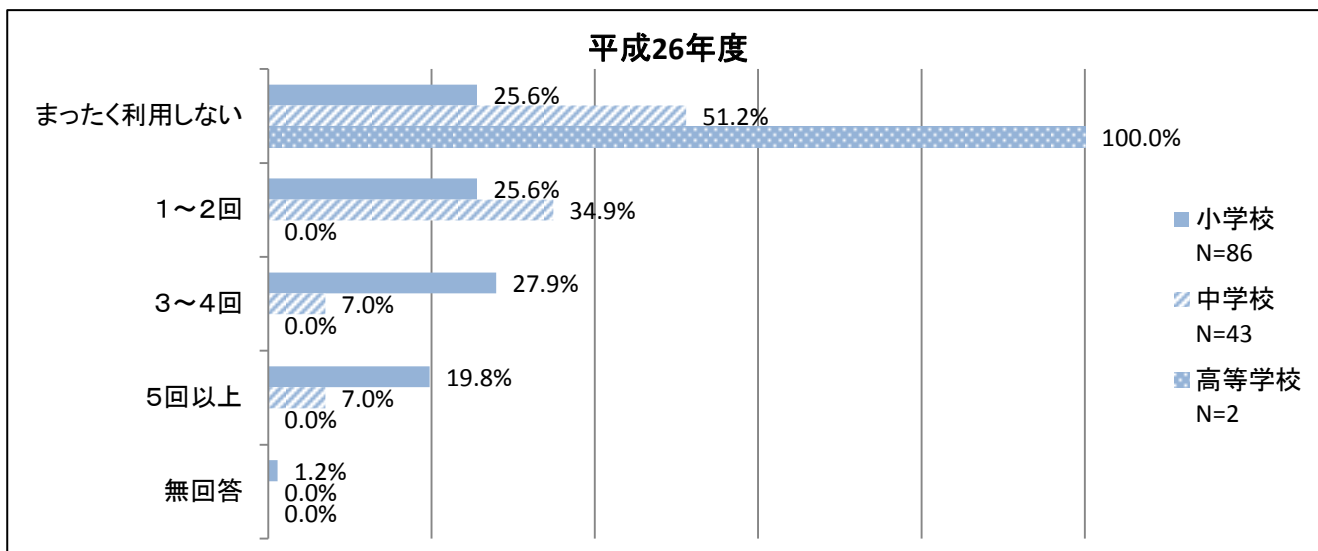


#### (4) 関係機関との連携・協力について

##### 【関係機関の利用状況】

市立図書館の「団体貸出し」・「学校協力貸出し」を1年間でどの程度利用しますか。

- 「団体貸出し」・「学校協力貸出し」を全く利用していない学校が、小学校(25.6%)中学校(51.2%)あることから、公立図書館との連携は十分とは言えない。より活用しやすい方法を考える必要がある。



## 5 図書館・生涯学習施設等地域における子どもの読書活動の現状

あなたは、本を読んだり借りたりするために、学校以外の場所(県立・市立図書館、生涯学習施設、児童館、

家庭文庫など)を1か月に何回くらい利用しますか。<小中高生>

- 「全く利用しない」と回答しているのが、小学生(32.3%)、中学生(56.8%)、高校生(73.8%)となり、前回調査時よりも若干減少している。

